

令和4年度

西海市各会計歳入歳出決算及び
基金運用状況審査意見書

西海市監査委員



5 西海監第 15 号
令和 5 年 8 月 18 日

西海市長 杉澤 泰彦 様

西海市監査委員 井田 利定
西海市監査委員 杉山 誠治



令和 4 年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項及び第 241 条第 5 項の規定により審査に付された
令和 4 年度西海市各会計決算及び基金運用状況の審査を行ったので、その意見
書を送付します。

目 次

1. 審査の対象	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の方法	1
4. 審査の結果	1
決算総括	2
決算額の推移・財政力指数等	3
一般会計		
1. 決算の概要	4
(1) 決算規模	4
2. 歳入について	4
(1) 歳入決算の概要	4
(2) 財源別歳入状況	4
(3) 款別歳入状況	4
3. 歳出について	16
(1) 歳出決算の概要	16
(2) 性質別歳出状況	16
(3) 款別歳出状況	16
特別会計		
国民健康保険特別会計（事業勘定）		
1. 決算の概要	26
(1) 歳入	26
(2) 歳出	26
国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）		
1. 決算の概要	30
(1) 歳入	30
(2) 歳出	30
後期高齢者医療特別会計		
1. 決算の概要	34
(1) 歳入	34
(2) 歳出	34
交通船特別会計		
1. 決算の概要	38
(1) 歳入	38
(2) 歳出	38
介護保険特別会計（保険事業勘定）		
1. 決算の概要	42
(1) 歳入	42
(2) 歳出	42
介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）		
1. 決算の概要	46
(1) 歳入	46
(2) 歳出	46

工業団地整備事業特別会計		
1. 決算の概要	50
(1) 歳入		
(2) 歳出		
財産に関する調書		
一般会計	54
特別会計	57
むすび	59

※この決算審査意見書中の構成比率の数値は、四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

令和4年度西海市各会計歳入歳出決算審査意見書

1. 審査の対象

令和4年度西海市一般会計歳入歳出決算
令和4年度西海市国民健康保険特別会計歳入歳出決算
令和4年度西海市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
令和4年度西海市交通船特別会計歳入歳出決算
令和4年度西海市介護保険特別会計歳入歳出決算
令和4年度西海市工業団地整備事業特別会計歳入歳出決算

2. 審査の期間

令和5年7月18日から8月18日まで

3. 審査の方法

各会計の決算審査にあたっては、予算が適正かつ効率的に執行されているか、財政運営は健全か、自主財源は確保できているか等に加え、各課主要事業の事務が適正であるかに主眼を置き、送付を受けた各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書、その他付属資料について、関係諸帳簿と照合すると共に関係者からの説明聴取等、通常実施すべき審査手続きを実施した。

4. 審査の結果

審査に付された令和4年度各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は、法令に準拠して作成されており、決算計数は関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の係数についても、関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

決算総括

令和4年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算額並びに執行状況については、図表1から図表3のとおりである。

図表1 令和4年度歳入歳出決算額 (単位：円・%)

会計別	予算現額	決算額		差引残額	執行率		
		収入済額	支出済額		収入	支出	
一般会計	25,788,856,000	24,433,543,490	23,071,838,119	1,361,705,371	94.7	89.5	
特別会計	国保(事業)	3,871,190,000	3,736,861,518	3,635,474,680	101,386,838	96.5	93.9
	国保(直診)	199,762,000	197,054,308	161,881,700	35,172,608	98.6	81.0
	後期高齢者医療	404,410,000	398,696,374	394,073,845	4,622,529	98.6	97.4
	交通船	134,468,000	133,609,917	125,252,595	8,357,322	99.4	93.1
	介護保険(事業)	3,687,677,000	3,663,327,842	3,518,211,442	145,116,400	99.3	95.4
	介護保険(サービス)	19,253,000	19,285,728	18,221,291	1,064,437	100.2	94.6
	工業団地整備	298,096,000	290,596,705	287,873,408	2,723,297	97.5	96.6
	小計	8,614,856,000	8,439,432,392	8,140,988,961	298,443,431	98.0	94.5
合計	34,403,712,000	32,872,975,882	31,212,827,080	1,660,148,802	95.6	90.7	

図表2 執行状況(歳入) (単位：円・%)

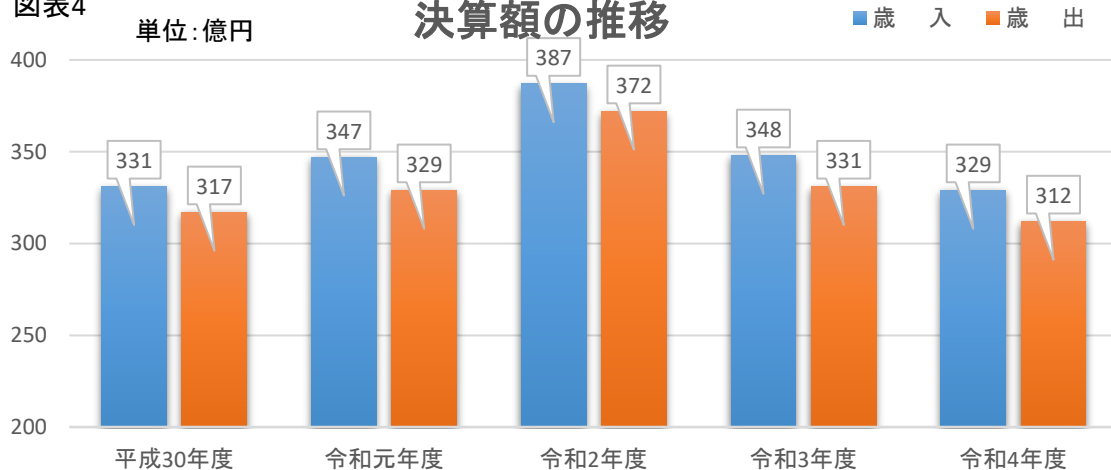
会計別	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入率	
一般会計	25,788,856,000	24,629,803,345	24,433,543,490	6,278,691	189,981,164	99.2	
特別会計	国保(事業)	3,871,190,000	3,801,438,589	3,736,861,518	6,530,067	58,047,004	98.3
	国保(直診)	199,762,000	197,054,308	197,054,308	0	0	100.0
	後期高齢者医療	404,410,000	399,187,897	398,696,374	0	491,523	99.9
	交通船	134,468,000	133,609,917	133,609,917	0	0	100.0
	介護保険(事業)	3,687,677,000	3,667,437,052	3,663,327,842	300,200	3,809,010	99.9
	介護保険(サービス)	19,253,000	19,285,728	19,285,728	0	0	100.0
	工業団地整備	298,096,000	290,596,705	290,596,705	0	0	100.0
	小計	8,614,856,000	8,508,610,196	8,439,432,392	6,830,267	62,347,537	99.2
合計	34,403,712,000	33,138,413,541	32,872,975,882	13,108,958	252,328,701	99.2	

図表3 執行状況(歳出) (単位：円・%)

会計別	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	
一般会計	25,788,856,000	23,071,838,119	1,491,645,000	1,225,372,881	95.0	
特別会計	国保(事業)	3,871,190,000	3,635,474,680	0	235,715,320	93.9
	国保(直診)	199,762,000	161,881,700	0	37,880,300	81.0
	後期高齢者医療	404,410,000	394,073,845	0	10,336,155	97.4
	交通船	134,468,000	125,252,595	0	9,215,405	93.1
	介護保険(事業)	3,687,677,000	3,518,211,442	0	169,465,558	95.4
	介護保険(サービス)	19,253,000	18,221,291	0	1,031,709	94.6
	工業団地整備	298,096,000	287,873,408	0	10,222,592	96.6
	小計	8,614,856,000	8,140,988,961	0	473,867,039	94.5
合計	34,403,712,000	31,212,827,080	1,491,645,000	1,699,239,920	94.8	

平成30年度から令和4年度までの総計決算額は図表4のとおりである。

図表4



普通会計における財政力指数等は、図表5のとおりである

図表5 (決算統計による)

(単位：千円)

区 分	令和4年度	令和3年度
基準財政需要額	11,149,297	11,158,365
基準財政収入額	3,201,571	3,123,352
標準財政規模	12,059,917	12,390,597
財政力指数	0.29	0.29
経常収支比率	85.6%	83.9%
実質収支比率	8.73%	9.54%
実質公債費比率	△0.9%	△1.8%
公債費比率	-	-
債務負担行為を 含む公債費比率	-	-
起債制限比率	-	-
基金現在高	17,329,382	16,431,927
地方債現在高	19,719,363	19,801,527
債務負担行為額 (R5年度以降の支出予定額)	3,510,161	4,253,851

※基金現在高は、土地開発基金及び長崎県証紙購買基金を除いた数値である。

一般会計

一 般 会 計

1. 決算の概要

決算規模

令和4年度における決算は、歳入総額 24,433,543,490 円、歳出総額 23,071,838,119 円で、歳入歳出差引額 1,361,705,371 円、翌年度へ繰越すべき財源 308,506,000 円を差引いた実質収支額は、1,053,199,371 円の黒字となっている。

2. 歳入について

(1) 歳入決算の概要

歳入決算額の状況及び前年度との比較は図表6のとおりである。

本年度における歳入決算の状況は、予算現額 25,788,856,000 円に対し収入済額 24,433,543,490 円で、執行率 94.7%、調定額 24,629,803,345 円に対する収入率は 99.2% である。不納欠損額 6,278,691 円を計上し、収入未済額 189,981,164 円となっている。

また、前年度との比較においては、歳入総額で 1,723,889,917 円（6.6%）の減少となっている。主なものでは県支出金、寄附金、繰越金が増加、及び国庫支出金、財産収入、繰入金が増加となっている。

図表 6

区 分	令和 4年度								
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④	
市 税	3,025,038,000	3,165,449,229	3,109,997,658	102.8	98.2	12.7	6,278,691	49,172,880	
地 方 譲 与 税	235,253,000	235,253,444	235,253,444	100.0	100.0	1.0	0	0	
利 子 割 交 付 金	689,000	689,000	689,000	100.0	100.0	0.0	0	0	
配 当 割 交 付 金	7,395,000	7,395,000	7,395,000	100.0	100.0	0.0	0	0	
株式等譲渡所得割交付金	7,141,000	7,141,000	7,141,000	100.0	100.0	0.0	0	0	
法 人 事 業 税 交 付 金	34,708,000	34,708,000	34,708,000	100.0	100.0	0.1	0	0	
地 方 消 費 税 交 付 金	651,495,000	651,495,000	651,495,000	100.0	100.0	2.7	0	0	
ゴルフ場利用税交付金	29,621,000	29,621,550	29,621,550	100.0	100.0	0.1	0	0	
環 境 性 能 割 交 付 金	13,477,000	13,477,000	13,477,000	100.0	100.0	0.1	0	0	
国有提供施設等所在市町村助成交付金	136,301,000	136,301,000	136,301,000	100.0	100.0	0.6	0	0	
地 方 特 例 交 付 金	15,854,000	15,854,000	15,854,000	100.0	100.0	0.1	0	0	
地 方 交 付 税	8,761,254,000	8,761,254,000	8,761,254,000	100.0	100.0	35.9	0	0	
交通安全対策特別交付金	2,111,000	2,111,000	2,111,000	100.0	100.0	0.0	0	0	
分 担 金 及 び 負 担 金	58,367,000	75,174,006	60,309,913	103.3	80.2	0.2	0	14,864,093	
使 用 料 及 び 手 数 料	366,138,000	402,374,731	376,464,527	102.8	93.6	1.5	0	25,910,204	
国 庫 支 出 金	4,051,081,000	3,736,552,847	3,736,552,847	92.2	100.0	15.3	0	0	
県 支 出 金	2,243,602,000	1,650,657,242	1,650,657,242	73.6	100.0	6.8	0	0	
財 産 収 入	106,957,000	188,752,818	111,410,714	104.2	59.0	0.5	0	77,342,104	
寄 附 金	987,671,000	987,818,336	987,818,336	100.0	100.0	4.0	0	0	
繰 入 金	805,678,000	802,427,106	802,427,106	99.6	100.0	3.3	0	0	
繰 越 金	1,451,012,000	1,451,012,171	1,451,012,171	100.0	100.0	5.9	0	0	
諸 収 入	182,976,000	324,647,506	301,955,623	165.0	93.0	1.2	0	22,691,883	
市 債	2,614,600,000	1,949,200,000	1,949,200,000	74.6	100.0	8.0	0	0	
自動車取得税交付金	437,000	437,359	437,359	100.1	100.0	0.0	0	0	
合 計	25,788,856,000	24,629,803,345	24,433,543,490	94.7	99.2	100.0	6,278,691	189,981,164	

決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
3,036,624,000	3,149,730,738	3,094,472,970	101.9	98.2	11.8	5,105,093	50,152,675	15,524,688	0.5
230,309,000	230,309,388	230,309,388	100.0	100.0	0.9	0	0	4,944,056	2.1
1,237,000	1,237,000	1,237,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 548,000	△ 44.3
9,311,000	9,311,000	9,311,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 1,916,000	△ 20.6
11,726,000	11,726,000	11,726,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 4,585,000	△ 39.1
41,264,000	41,264,000	41,264,000	100.0	100.0	0.2	0	0	△ 6,556,000	△ 15.9
648,993,000	648,993,000	648,993,000	100.0	100.0	2.5	0	0	2,502,000	0.4
28,346,000	28,346,850	28,346,850	100.0	100.0	0.1	0	0	1,274,700	4.5
10,963,000	10,963,000	10,963,000	100.0	100.0	0.0	0	0	2,514,000	22.9
126,470,000	126,470,000	126,470,000	100.0	100.0	0.5	0	0	9,831,000	7.8
47,081,000	47,081,000	47,081,000	100.0	100.0	0.2	0	0	△ 31,227,000	△ 66.3
8,896,549,000	8,896,549,000	8,896,549,000	100.0	100.0	34.0	0	0	△ 135,295,000	△ 1.5
2,340,000	2,340,000	2,340,000	100.0	100.0	0.0	0	0	△ 229,000	△ 9.8
66,291,000	85,801,898	70,360,217	106.1	82.0	0.3	0	15,441,681	△ 10,050,304	△ 14.3
378,774,000	405,610,074	378,127,430	99.8	93.2	1.4	0	27,482,644	△ 1,662,903	△ 0.4
5,010,417,000	4,409,028,179	4,409,028,179	88.0	100.0	16.9	0	0	△ 672,475,332	△ 15.3
1,934,319,000	1,447,660,327	1,447,660,327	74.8	100.0	5.5	0	0	202,996,915	14.0
280,673,000	371,533,784	292,954,568	104.4	78.9	1.1	0	78,579,216	△ 181,543,854	△ 62.0
867,650,000	867,483,527	867,483,527	100.0	100.0	3.3	0	0	120,334,809	13.9
1,975,332,000	1,974,738,376	1,974,738,376	100.0	100.0	7.5	0	0	△ 1,172,311,270	△ 59.4
1,178,865,000	1,178,865,120	1,178,865,120	100.0	100.0	4.5	0	0	272,147,051	23.1
166,274,000	317,976,565	293,252,455	176.4	92.2	1.1	1,000,000	23,724,110	8,703,168	3.0
2,916,400,000	2,095,900,000	2,095,900,000	71.9	100.0	8.0	0	0.0	△ 146,700,000	△ 7.0
								437,359	
27,866,208,000	26,358,918,826	26,157,433,407	93.9	99.2	100.0	6,105,093	195,380,326	△ 1,723,889,917	△ 6.6

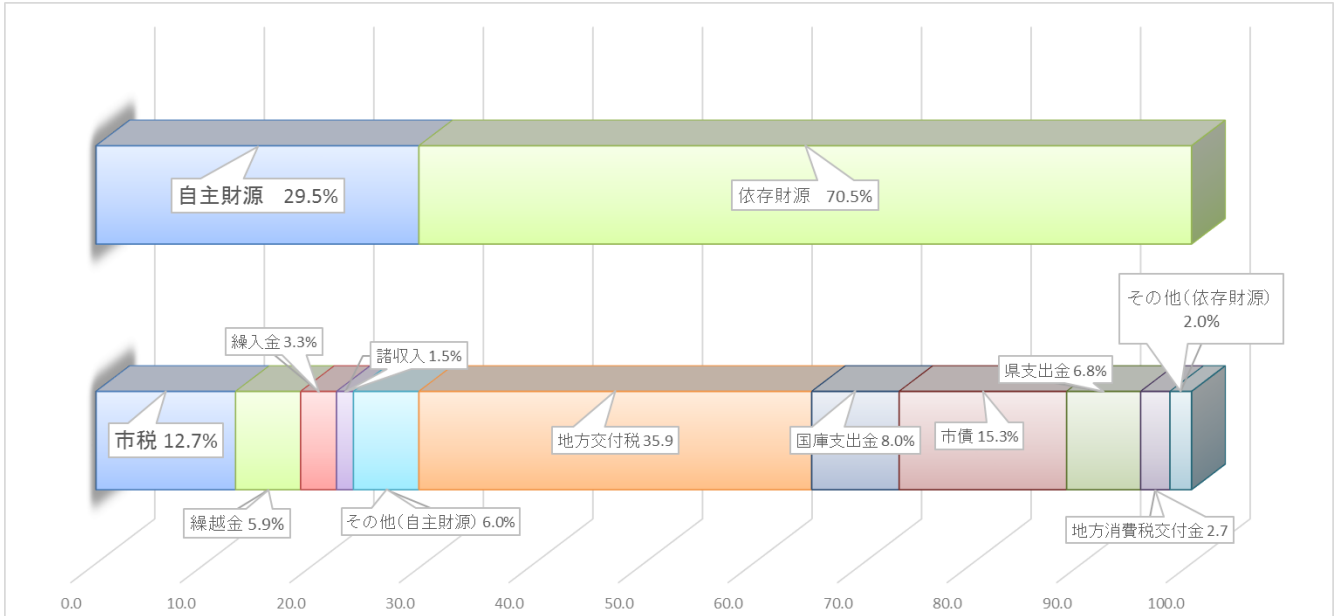
(2) 財源別歳入状況

財源別歳入決算の状況は図表7及び図表8のとおりである。

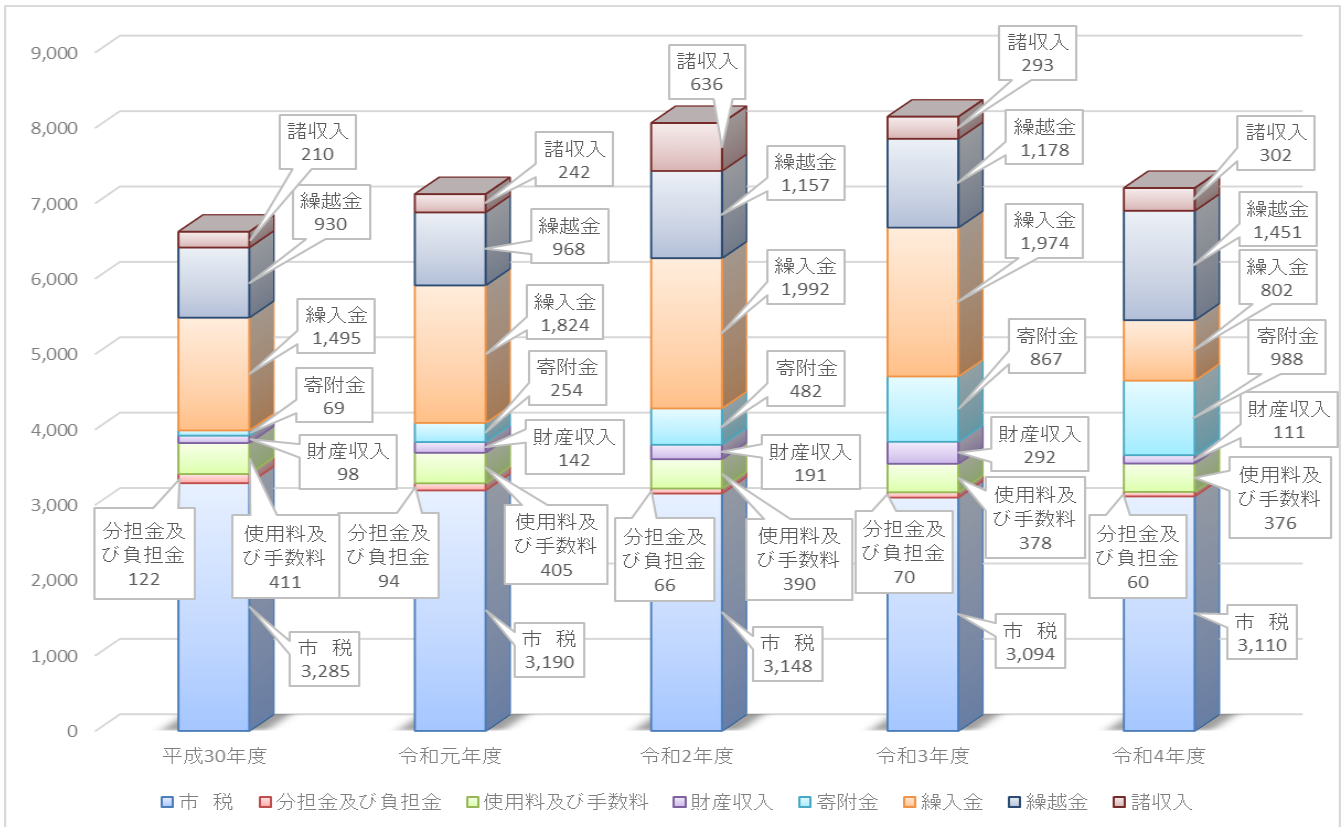
自主財源は、歳入全体に対して29.5%で、前年度との比較において11.6%減少している。

依存財源は、歳入全体に対して70.5%で、前年度との比較において4.3%減少している。

図表7 自主財源と依存財源



図表8 自主財源額の推移



図表9 自主財源と依存財源

(単位：千円・%)

区 分		令和4年度		令和3年度		増減額	増減率
		決算額	構成比	決算額	構成比		
自主財源	市 税	3,109,998	43.2 12.7	3,094,473	38.0 11.8	15,525	0.5
	分 担 金 及 び 負 担 金	60,310	0.8 0.3	70,360	0.9 0.3	△ 10,050	△ 14.3
	使 用 料 及 び 手 数 料	376,465	5.2 1.5	378,127	4.6 1.5	△ 1,663	△ 0.4
	財 産 収 入	111,411	1.6 0.5	292,955	3.6 1.1	△ 181,544	△ 62.0
	寄 附 金	987,818	13.7 4.0	867,484	10.6 3.3	120,335	13.9
	繰 入 金	802,427	11.1 3.3	1,974,738	24.2 7.6	△ 1,172,311	△ 59.4
	繰 越 金	1,451,012	20.2 5.9	1,178,865	14.5 4.5	272,147	23.1
	諸 収 入	301,956	4.2 1.2	293,253	3.6 1.1	8,703	3.0
	計	7,201,396	100.0 29.5	8,150,255	100.0 31.2	△ 948,859	△ 11.6
	依存財源	地 方 譲 与 税	235,253	1.4 1.0	230,309	1.3 0.9	4,944
利 子 割 交 付 金		689	0.0 0.0	1,237	0.0 0.0	△ 548	△ 44.3
配 当 割 交 付 金		7,395	0.0 0.0	9,311	0.1 0.0	△ 1,916	△ 20.6
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		7,141	0.0 0.0	11,726	0.1 0.0	△ 4,585	△ 39.1
法 人 事 業 税 交 付 金		34,708	0.1 0.1	41,264	0.2 0.2	△ 6,556	△ 15.9
地 方 消 費 税 交 付 金		651,495	3.8 2.7	648,993	3.6 2.5	2,502	0.4
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		29,622	0.2 0.1	28,347	0.2 0.1	1,275	4.5
環 境 性 能 割 交 付 金		13,477	0.1 0.1	10,963	0.1 0.0	2,514	22.9
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金		136,301	0.8 0.6	126,470	0.7 0.5	9,831	7.8
地 方 特 例 交 付 金		15,854	0.1 0.1	47,081	0.3 0.2	△ 31,227	△ 66.3
地 方 交 付 税		8,761,254	50.8 35.9	8,896,549	49.4 34.0	△ 135,295	△ 1.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		2,111	0.0 0.0	2,340	0.0 0.0	△ 229	△ 9.8
国 庫 支 出 金		3,736,553	21.7 15.3	4,409,028	24.5 16.9	△ 672,475	△ 15.3
県 支 出 金		1,650,657	9.6 6.8	1,447,660	8.0 5.5	202,997	14.0
市 債		1,949,200	11.3 8.0	2,095,900	11.6 8.0	△ 146,700	△ 7.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金		437	0.0 0.0	0	0.0 0.0	437	-
計	17,232,147	100.0 70.5	18,007,179	100.0 68.8	△ 775,031	△ 4.3	
合 計	24,433,543		26,157,433		△ 1,723,890	△ 6.6	

※ 構成比欄上段は、財源別歳入計に対する構成比で、下段は、歳入総額に対する構成比を示す。
 ※ 各財源別小計欄は、各欄合計(単位:円)の合計につき、千円未満を四捨五入した数値である。

自主財源収納状況表

(単位：円・%)

区分	調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市税	3,165,449,229	3,109,997,658	98.2	6,278,691	0.2	49,172,880	1.6
分担金及び負担金	75,174,006	60,309,913	80.2	0	0.0	14,864,093	19.8
使用料及び手数料	402,374,731	376,464,527	93.6	0	0.0	25,910,204	6.4
財産収入	188,752,818	111,410,714	59.0	0	0.0	77,342,104	41.0
寄附金	987,818,336	987,818,336	100.0	0	0.0	0	0.0
繰入金	802,427,106	802,427,106	100.0	0	0.0	0	0.0
繰越金	1,451,012,171	1,451,012,171	100.0	0	0.0	0	0.0
諸収入	324,647,506	301,955,623	93.0	0	0.0	22,691,883	7.0
合計	7,397,655,903	7,201,396,048	97.3	6,278,691	0.1	189,981,164	2.6
令和3年度	8,351,740,082	8,150,254,663	97.6	6,105,093	0.1	195,380,326	2.3

自主財源が歳入全体に占める割合は 29.5%で、前年度決算より 948,859 千円減少している。

(3) 款別歳入状況

1款 市税

令和4年度市税は、調定額 3,165,449,229 円に対し収入済額 3,109,997,658 円で、収入率 98.2%、対前年度比で 15,524,688 円、0.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 12.7%である。不納欠損額 6,278,691 円で収入未済額は 49,172,880 円となっている。

市税の収納状況

(単位：円・%)

区 分		令和4年度						
		調 定 額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
市 民 税	現年度分	1,003,288,380	996,607,178	99.3	0	0.0	6,681,202	0.7
	過年度分	24,010,818	5,568,207	23.2	2,742,090	11.4	15,700,521	65.4
	小 計	1,027,299,198	1,002,175,385	97.6	2,742,090	0.3	22,381,723	2.2
固定資産税	現年度分	1,780,321,000	1,773,157,099	99.6	0	0.0	7,163,901	0.4
	過年度分	23,937,432	3,361,191	14.0	3,034,096	12.7	17,542,145	73.3
	小 計	1,804,258,432	1,776,518,290	98.5	3,034,096	0.2	24,706,046	1.4
軽自動車税	現年度分	121,972,100	121,274,327	99.4	0	0.0	697,773	0.6
	過年度分	2,425,466	535,623	22.1	502,505	20.7	1,387,338	57.2
	小 計	124,397,566	121,809,950	97.9	502,505	0.4	2,085,111	1.7
市たばこ税	現年度分	208,716,053	208,716,053	100.0	0	0.0	0	0.0
入 湯 税	現年度分	777,980	777,980	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計	現年度分	3,115,075,513	3,100,532,637	99.5	0	0.0	14,542,876	0.5
	過年度分	50,373,716	9,465,021	18.8	6,278,691	12.5	34,630,004	68.7
	合 計	3,165,449,229	3,109,997,658	98.2	6,278,691	0.2	49,172,880	1.6

税目別の徴収状況は上記のとおりで、市税の決算額における現年課税分と滞納繰越分の状況は次のとおりとなっている。

現年課税分

調定額 3,115,075,513 円に対し、収入済額 3,100,532,637 円（収入率 99.5%）で不納欠損額 0 円（不納欠損率 0.0%）となっている。

滞納繰越分

調定額 50,373,716 円に対し、収入済額 9,465,021 円（収入率 18.8%）で不納欠損額 6,278,691 円（不納欠損率 12.5%）となっている。

なお、不納欠損の内容は次のとおりとなっている。

(単位：人・件・円)

区 分		個人市民税			法人市民税			固定資産税			軽自動車税			合 計		
		人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額	人数	件数	税額
地方税法	第15条の7第4項 執行停止3年経過	46	148	830,499	1	1	20,000	60	236	1,951,877	17	25	181,929	124	410	2,984,305
	第15条の7第5項 即時消滅等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第18条第1項 時効完成	29	139	1,891,591	0	0	0	66	198	1,082,219	31	49	320,576	126	386	3,294,386
	(うち、執行停止に係るもの)	29	139	1,891,591	0	0	0	66	198	1,082,219	31	49	320,576	126	386	3,294,386
合 計		75	287	2,722,090	1	1	20,000	126	434	3,034,096	48	74	502,505	250	796	6,278,691

2款 地方譲与税

調定額 235,253,444 円に対し収入済額 235,253,444 円で、収入率 100%、対前年度比で 4,944,056 円、2.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 1.0%である。

3款 利子割交付金

調定額 689,000 円に対し収入済額 689,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 548,000 円、44.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

4款 配当割交付金

調定額 7,395,000 円に対し収入済額 7,395,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,916,000 円、20.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.03%である。

5款 株式等譲渡所得割交付金

調定額 7,141,000 円に対し収入済額 7,141,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 4,585,000 円、39.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.03%である。

6款 法人事業税交付金

調定額 34,708,000 円に対し収入済額 34,708,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 6,556,000 円、15.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

7款 地方消費税交付金

調定額 651,495,000 円に対し収入済額 651,495,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 2,502,000 円、0.4%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 2.7%である。

8款 ゴルフ場利用税交付金

調定額 29,621,550 円に対し収入済額 29,621,550 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,274,700 円、4.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

9款 環境性能割交付金

調定額 13,477,000 円に対し収入済額 13,477,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 2,514,000 円、22.9%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

10款 国有提供施設等所在市町村助成交付金

調定額 136,301,000 円に対し収入済額 136,301,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 9,831,000 円、7.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.6%である。

11款 地方特例交付金

調定額 15,854,000 円に対し収入済額 15,854,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 31,227,000 円、66.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

12款 地方交付税

調定額 8,761,254,000 円に対し収入済額 8,761,254,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 135,295,000 円、1.5%の減少となっている。

13 款 交通安全対策特別交付金

調定額 2,111,000 円に対し収入済額 2,111,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 229,000 円、9.8%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.01%である。

14 款 分担金及び負担金

調定額 75,174,006 円に対し収入済額 60,309,913 円で、収入率 80.2%、対前年度比で 10,050,304 円、14.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.2%である。収入未済額は 14,864,093 円となっている。分担金及び負担金の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分		令和4年度							
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①	
負 担 金	民生費負担金	老人福祉費負担金	26,967,189	26,967,189	100.0	0	0.0	0	0.0
		児童福祉費負担金	22,550,056	21,409,790	94.9	0	0.0	1,140,266	5.1
	衛生費負担金	保健衛生費負担金	2,646,250	2,646,250	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃費負担金	7,633,046	7,633,046	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費負担金	農業費負担金	14,047,715	323,888	2.3	0	0.0	13,723,827	97.7
	小 計		73,844,256	58,980,163	79.9	0	0.0	14,864,093	20.1
分 担 金	災害復旧費分担金		0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業費分担金		1,329,750	1,329,750	100.0	0	0.0	0	0.0
	小 計		1,329,750	1,329,750	100.0	0	0.0	0	0.0
合 計		75,174,006	60,309,913	80.2	0	0.0	14,864,093	19.8	

・負担金

調定額 73,844,256 円に対し、収入済額 58,980,163 円（収入率 79.9%）となっている。

・分担金

調定額 1,329,750 円に対し、収入済額 1,329,750 円（収入率 100.0%）となっている。

15 款 使用料及び手数料

調定額 402,374,731 円に対し収入済額 376,464,527 円で、収入率 93.6%、対前年度比で 1,662,903 円、0.4%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 1.5%である。収入未済額は 25,910,204 円となっている。

使用料及び手数料の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分		令和4年度							
		調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①	
使 用 料	総務使用料	総務使用料	26,237,391	25,774,931	98.2	0	0.0	462,460	1.8
	民生使用料	社会福祉使用料	8,600	8,600	100.0	0	0.0	0	0.0
		児童福祉使用料	8,984,265	8,984,265	100.0	0	0.0	0	0.0
	衛生使用料	保健衛生使用料	5,049,240	5,049,240	100.0	0	0.0	0	0.0
		農業使用料	454,266	454,266	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業使用料	水産業使用料	2,407,512	2,407,512	100.0	0	0.0	0	0.0
		林業使用料	246,572	246,572	100.0	0	0.0	0	0.0
	商工使用料	商工使用料	2,390,064	1,056,531	44.2	0	0.0	1,333,533	55.8
		観光使用料	55,973	55,973	100.0	0	0.0	0	0.0
	土 木 使 用 料	道路橋梁使用料	3,084,081	3,084,081	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川使用料	6,632	6,632	100.0	0	0.0	0	0.0
		港湾使用料	3,703,040	3,703,040	100.0	0	0.0	0	0.0
		公園使用料	1,100	1,100	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅使用料	280,237,409	256,321,609	91.5	0	0.0	23,915,800	8.5
	教 育 使 用 料	合併浄化槽使用料	7,824,205	7,629,154	97.5	0	0.0	195,051	2.5
		教育総務使用料	2,700	2,700	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校使用料	9,300	9,300	100.0	0	0.0	0	0.0
		中学校使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		幼稚園使用料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育使用料	2,062,921	2,062,921	100.0	0	0.0	0	0.0
小 計	保健体育使用料	3,862,814	3,859,454	99.9	0	0.0	3,360	0.1	
	小計	346,628,085	320,717,881	92.5	0	0.0	25,910,204	7.5	
手 数 料	総務手数料	総務管理手数料	1,254,538	1,254,538	100.0	0	0.0	0	0.0
		徴税手数料	2,169,345	2,169,345	100.0	0	0.0	0	0.0
		戸籍住民基本台帳手数料	12,621,350	12,621,350	100.0	0	0.0	0	0.0
	民生手数料	児童福祉手数料	200	200	100.0	0	0.0	0	0.0
		社会福祉手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	衛生手数料	保健衛生手数料	757,000	757,000	100.0	0	0.0	0	0.0
		清掃手数料	38,827,513	38,827,513	100.0	0	0.0	0	0.0
	農林水産業手数料	農業手数料	1,650	1,650	100.0	0	0.0	0	0.0
	土 木 手 数 料	道路橋梁手数料	7,400	7,400	100.0	0	0.0	0	0.0
		河川手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		港湾手数料	12,350	12,350	100.0	0	0.0	0	0.0
		住宅手数料	92,400	92,400	100.0	0	0.0	0	0.0
	教 育 手 数 料	教育総務手数料	1,000	1,000	100.0	0	0.0	0	0.0
		小学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		中学校手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		幼稚園手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		社会教育手数料	300	300	100.0	0	0.0	0	0.0
		保健体育手数料	1,600	1,600	100.0	0	0.0	0	0.0
	商 工 手 数 料	商工手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
		観光手数料	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
小計		55,746,646	55,746,646	100.0	0	0.0	0	0.0	
合計		402,374,731	376,464,527	93.6	0	0.0	25,910,204	6.4	

・使用料

調定額 346,628,085 円に対し、収入済額 320,717,881 円（収入率 92.5%）となっている。

・手数料

調定額 55,746,646 円に対し、収入済額 55,746,646 円（収入率 100.0%）となっている。

16 款 国庫支出金

調定額 3,736,552,847 円に対し収入済額 3,736,552,847 円で、収入率 100%、対前年度比で 672,475,332 円、15.3%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 15.3%である。

17 款 県支出金

調定額 1,650,657,242 円に対し収入済額 1,650,657,242 円で、収入率 100%、対前年度比で 202,996,915 円、14.0%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 6.8%である。

18 款 財産収入

調定額 188,752,818 円に対し収入済額 111,410,714 円で、収入率 59.0%、対前年度比で 181,543,854 円、62.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 0.5%である。収入未済額は 77,342,104 円となっている。

財産収入の内訳は次のとおりとなっている。

(単位：円・%)

区 分			令和4年度						
			調定額 ①	収入済額 ②	収入率 ②/①	不納欠損額 ③	不納欠損率 ③/①	収入未済額 ④	収入未済率 ④/①
財産運用収入	財産貸付収入	土地建物貸付収入	44,906,717	38,335,840	85.4	0	0.0	6,570,877	14.6
		物品貸付収入	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	基金運用収入	利子及び配当金	57,311,058	57,311,058	100.0	0	0.0	0	0.0
		基金財産貸付収入	295,700	295,700	100.0	0	0.0	0	0.0
		有価証券等売却益	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	利子及び配当金	利子及び配当金	239,860	239,860	100.0	0	0.0	0	0.0
	小 計			102,753,335	96,182,458	93.6	0	0.0	6,570,877
財産売払収入	不動産売払収入	土地売払収入	5,012,946	5,012,946	100.0	0	0.0	0	0.0
		其他不動産売払収入	76,428,828	9,730,032	12.7	0	0.0	66,698,796	87.3
		建物売払収入	0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	物品売払収入	生産物売払収入	428,548	428,548	100.0	0	0.0	0	0.0
		物品売払収入	4,129,161	56,730	1.4	0	0.0	4,072,431	98.6
	小 計			85,999,483	15,228,256	17.7	0	0.0	70,771,227
合 計			188,752,818	111,410,714	59.0	0	0.0	77,342,104	41.0

・財産運用収入

調定額 102,753,335 円に対し、収入済額 96,182,458 円（収入率 93.6%）で、収入未済額 6,570,877 円（収入未済率 6.4%）となっている。

・財産売払収入

調定額 85,999,483 円に対し、収入済額 15,228,256 円（収入率 17.7%）で、収入未済額 70,771,227 円（収入未済率 82.3%）となっている。

19 款 寄附金

調定額 987,818,336 円に対し収入済額 987,818,336 円で、収入率 100%、対前年度比で 120,334,809 円、13.9%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 4.0%である。

増加の主な要因は、指定寄付金のうち、「ふるさと西海応援寄付金」は 972,637,786 円で、前年度と比較して 120,889,786 円（14.2%）増加している。

20 款 繰入金

調定額 802,427,106 円に対し収入済額 802,427,106 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,172,311,270 円、59.4%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 3.3%である。

内訳は、財政調整基金繰入金 337,402,000 円、その他特定目的基金繰入金 436,458,953 円、国民健康保険特別会計(事業勘定)繰入金 4,677,153 円、工業団地整備特別会計繰入金 23,889,000 円である。

21 款 繰越金

調定額 1,451,012,171 円に対し収入済額 1,451,012,171 円で、収入率 100%、対前年度比で 272,147,051 円、23.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 5.9%である。

22 款 諸収入

調定額 324,647,506 円に対し収入済額 301,955,623 円で、収入率 93.0%、対前年度比で 8,703,168 円、3.0%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 1.2%である。収入未済額は 22,691,883 円となっている。

内訳は、延滞金 3,151,176 円、遅延損害金 462,147 円、市預金利子 29,832 円、後期高齢者医療広域連合受託事業収入 14,024,080 円、実習指導受託事業収入 44,700 円、農業者年金事務受託事業収入 995,400 円、公社住宅管理受託事業収入 4,407,770 円、貸付金元利収入 100,239,616 円、弁償金 282,095 円、違約金及び延滞利息 50,000 円、雑入 178,268,807 円である。

23 款 市債

調定額 1,949,200,000 円に対し収入済額 1,949,200,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 146,700,000 円、7.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 8.0%である。

24 款 自動車取得税交付金

調定額 437,359 円に対し収入済額 437,359 円で、収入率 100%、対前年度比で 437,359 円の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

3. 歳出について

(1) 歳出決算の概要

歳出決算額の状況及び前年度との比較は図表10のとおりとなっている。

令和4年度一般会計歳出決算額は、予算現額 25,788,856,000 円に対して、支出済額 23,071,838,119 円で、翌年度繰越額 1,491,645,000 円を計上し、執行率 89.5%、不用額 1,225,372,881 円となっている。

前年度比較において 1,634,583,117 円 (6.6%) の減となっている。

特に減少が大きいものは、総務費 836,613 千円 (14.7%減)、民生費 485,558 千円 (6.7%減)、公債費 888,394 千円 (30.0%減) である。

歳出の主なものを款別構成比順にみると次のとおりとなっている。

() 内は構成比を示す。

① 民生費	6,776,394 千円 (29.4%)
② 総務費	4,858,113 千円 (21.1%)
③ 衛生費	2,893,264 千円 (12.5%)
④ 教育費	2,102,410 千円 (9.1%)
⑤ 公債費	2,077,260 千円 (9.0%)
⑥ 土木費	1,033,778 千円 (4.5%)
⑦ 災害復旧費	893,592 千円 (3.9%)
⑧ 農林水産業費	781,092 千円 (3.4%)
⑨ 消防費	746,919 千円 (3.2%)
⑩ 商工費	681,001 千円 (3.0%)

一般会計款別歳出

図表 10

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
議 会 費	176,323,000	165,579,580	93.9	0.7	0	10,743,420
総 務 費	5,123,730,000	4,858,113,041	94.8	21.1	148,180,000	117,436,959
民 生 費	7,223,844,000	6,776,393,519	93.8	29.4	350,000	447,100,481
衛 生 費	3,168,348,000	2,893,264,100	91.3	12.5	36,500,000	238,583,900
労 働 費	4,000	0	0.0	0.0	0	4,000
農 林 水 産 業 費	844,945,000	781,092,440	92.4	3.4	20,552,000	43,300,560
商 工 費	722,765,000	681,001,458	94.2	3.0	13,817,000	27,946,542
土 木 費	1,145,785,000	1,033,777,811	90.2	4.5	62,053,000	49,954,189
消 防 費	862,818,000	746,918,673	86.6	3.2	86,442,000	29,457,327
教 育 費	2,843,296,000	2,102,410,471	73.9	9.1	643,260,000	97,625,529
災 害 復 旧 費	1,458,994,000	893,591,878	61.2	3.9	480,491,000	84,911,122
公 債 費	2,077,723,000	2,077,260,148	100.0	9.0	0	462,852
諸 支 出 金	62,435,000	62,435,000	100.0	0.3	0	0
予 備 費	77,846,000	0	0.0	0.0	0	77,846,000
合 計	25,788,856,000	23,071,838,119	89.5	100.0	1,491,645,000	1,225,372,881

決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
178,466,000	159,851,607	89.6	0.6	0	18,614,393	5,727,973	3.6
6,054,736,000	5,694,725,573	94.1	23.0	216,855,000	143,155,427	△ 836,612,532	△ 14.7
7,925,133,000	7,261,951,746	91.6	29.4	36,952,000	626,229,254	△ 485,558,227	△ 6.7
3,449,756,000	3,130,036,907	90.7	12.7	263,077,000	56,642,093	△ 236,772,807	△ 7.6
4,000	0	0.0	0.00	0	4,000	0	-
688,078,000	628,769,678	91.4	2.5	25,508,000	33,800,322	152,322,762	24.2
929,928,000	651,731,287	70.1	2.6	111,869,000	166,327,713	29,270,171	4.5
1,352,338,000	1,119,790,801	82.8	4.5	171,253,000	61,294,199	△ 86,012,990	△ 7.7
789,354,000	674,057,209	85.4	2.7	89,359,000	25,937,791	72,861,464	10.8
2,385,053,000	2,054,943,361	86.2	8.3	227,117,000	102,992,639	47,467,110	2.3
1,064,310,000	300,836,180	28.3	1.2	750,001,000	13,472,820	592,755,698	197.0
2,966,118,000	2,965,653,887	100.0	12.0	0	464,113	△ 888,393,739	△ 30.0
64,073,000	64,073,000	100.0	0.3	0	0	△ 1,638,000	△ 2.6
18,861,000	0	0.0	0.0	0	18,861,000	0	-
27,866,208,000	24,706,421,236	88.7	100.0	1,891,991,000	1,267,795,764	△ 1,634,583,117	△ 6.6

(2) 性質別歳出状況

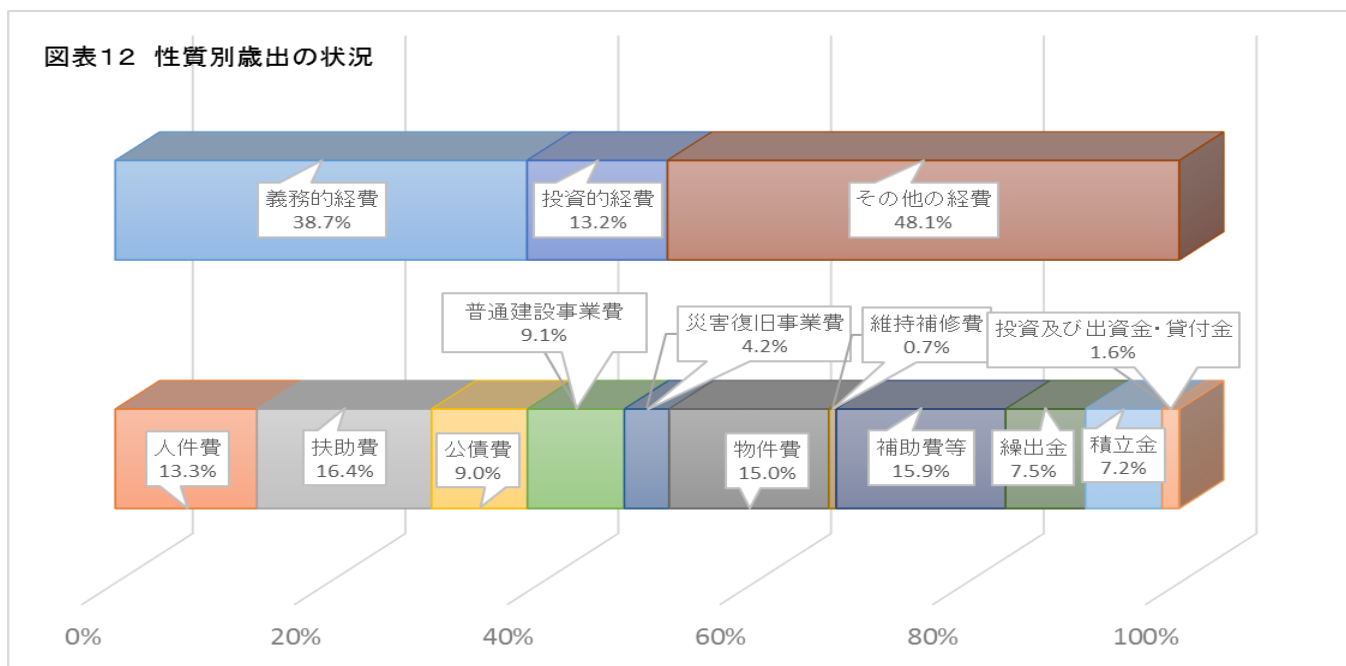
性質別歳出の状況は図表11のとおりである。

図表11 性質別歳出の状況

(単位：千円・%)

区 分	令和4年度		令和3年度		増減額	増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比			
義務的経費	人件費	3,083,856	13.4	3,060,534	12.4	23,322	0.8
	扶助費	3,779,224	16.4	4,334,490	17.5	△ 555,266	△ 12.8
	公債費	2,077,260	9.0	2,965,654	12.0	△ 888,394	△ 30.0
	計	8,940,340	38.8	10,360,678	41.9	△ 1,420,338	△ 13.7
投資的経費	普通建設事業費	2,006,544	8.7	2,366,163	9.6	△ 359,619	△ 15.2
	災害復旧事業費	960,430	4.2	299,461	1.2	660,969	220.7
	計	2,966,974	12.9	2,665,624	10.8	301,350	11.3
その他の経費	物件費	3,476,889	15.1	3,415,013	13.8	61,876	1.8
	維持補修費	161,938	0.7	174,098	0.7	△ 12,160	△ 7.0
	補助費等	3,754,578	16.3	3,371,280	13.6	383,298	11.4
	繰出金	1,737,327	7.5	1,759,813	7.1	△ 22,486	△ 1.3
	積立金	1,672,388	7.2	2,651,742	10.7	△ 979,354	△ 36.9
	投資及び出資金・貸付金	361,404	1.6	308,173	1.3	53,231	17.3
	計	11,164,524	48.4	11,680,119	47.3	△ 515,595	△ 4.4
合計	23,071,838	100.0	24,706,421	100.0	△ 1,634,583	△ 6.6	

図表12 性質別歳出の状況



(3) 款別歳出状況

1款 議会費

予算現額 176,323,000 円に対して、支出済額 165,579,580 円で、執行率 93.9%、不用額 10,743,420 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.7%である。前年度比較において 5,727,973 円 (3.6%) 増加している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

- ・議員活動費 13,353 千円

2款 総務費

予算現額 5,123,730,000 円に対して、支出済額 4,858,113,041 円で、執行率 94.8%、翌年度繰越額 148,180,000 円を計上し、不用額 117,436,959 円となっている。歳出総額に占める割合は 21.1%である。前年度比較において 836,612,532 円 (14.7%) 減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1項 総務管理費 4,415,237 千円 (前年度 5,290,772 千円)

- ・ふるさと西海応援寄附金事業 984,126 千円
- ・庁舎建設整備基金積立金 500,000 千円
- ・西海創生推進事業 (地方創生推進交付金) 35,370 千円
- ・普通財産建物解体事業 27,128 千円
- ・集会所等整備事業費補助事業 26,830 千円
- ・脱炭素社会に向かうまち創造事業 21,679 千円
- ・移住定住促進事業 18,956 千円

翌年度繰越額 145,232 千円の主な内訳は次のとおりである。

- ・普通財産建物解体事業 56,980 千円
- ・地域脱炭素・再生可能エネルギー推進事業 71,631 千円

2項 徴税費 246,392 千円 (前年度 174,798 千円)

3項 戸籍住民基本台帳費 138,015 千円 (前年度 115,758 千円)

4項 選挙費 37,899 千円 (前年度 91,882 千円)

5項 統計調査費 896 千円 (前年度 1,102 千円)

6項 監査委員費 19,675 千円 (前年度 20,415 千円)

3款 民生費

予算現額 7,223,844,000 円に対して、支出済額 6,776,393,519 円で、執行率 93.8%、翌年度繰越額 350,000 円を計上し、不用額 447,100,481 円となっている。歳出総額に占める割合は 29.4%である。前年度比較において 485,558,227 円 (6.7%) 減少している。

人件費を除く主な執行事業は次のとおりである。

1項 社会福祉費 3,222,045 千円 (前年度 3,276,054 千円)

- ・障害者自立支援給付事業 902,829 千円
- ・新型コロナウイルス感染症見舞金 25,917 千円

2項 児童福祉費 2,529,368 千円 (前年度 2,969,985 千円)

- ・子どものための教育・保育給付事業 1,206,419 千円

- ・児童福祉施設改修事業（繰越分） 33,264 千円
- ・出産祝金事業 12,500 千円

3 項 生活保護費 1,021,452 千円（前年度 1,009,593 千円）

4 項 災害救助費 3,528 千円（前年度 6,319 千円）

4 款 衛生費

予算現額 3,168,348,000 円に対して、支出済額 2,893,264,100 円で、執行率 91.3%、翌年度繰越額 36,500,000 円を計上し、不用額 238,583,900 円となっている。歳出総額に占める割合は 12.5%である。前年度比較において 236,772,807 円（7.6%）減少している。

人件費を除く主な執行业業は次のとおりである。

1 項 保健衛生費 945,267 千円（前年度 977,749 千円）

- ・新型コロナウイルス予防接種事業 141,430 千円
 - ・新型コロナウイルス予防接種事業（繰越分） 134,352 千円
- 翌年度繰越額 36,500 千円の内訳は次のとおりである。
- ・医療機関新規開設・承継補助事業 35,000 千円
 - ・訪問看護事業所開設・拡充補助事業 1,500 千円

2 項 清掃費 772,706 千円（前年度 945,995 千円）

- ・塵芥車購入費 8,225 千円

3 項 上水道費 338,373 千円（前年度 339,703 千円）

- ・上水道事業補助金 197,536 千円

4 項 下水道費 836,918 千円（前年度 866,590 千円）

- ・下水道事業補助金 299,853 千円

6 款 農林水産業費

予算現額 844,945,000 円に対して、支出済額 781,092,440 円で、執行率 92.4%、翌年度繰越額 20,552,000 円を計上し、不用額 43,300,560 円となっている。歳出総額に占める割合は 3.4%である。前年度比較において 152,322,762 円（24.2%）増加している。

人件費を除く主な執行业業は次のとおりである。

1 項 農業費 524,014 千円（前年度 456,051 千円）

- ・新たな就農者支援事業 23,890 千円
- ・農業次世代人材投資事業（経営開始型） 10,046 千円
- ・防災重点ため池災害対策事業（繰越分） 7,684 千円
- ・防災重点ため池災害対策事業 2,239 千円
- ・天久保地区農業競争力強化基盤整備事 1,050 千円
- ・防災重点ため池災害対策事業 14,285 千円

2 項 林業費 63,194 千円（前年度 64,123 千円）

- ・未来につなぐ西海の森づくり事業 15,441 千円

3 項 水産業費 193,884 千円（前年度 108,596 千円）

- ・漁業振興特別対策事業 85,539 千円

7款 商工費

予算現額 722,765,000 円に対して、支出済額 681,001,458 円で、執行率 94.2%、翌年度繰越額 13,817,000 円を計上し、不用額 27,946,542 円となっている。歳出総額に占める割合は 3.0%である。前年度比較において 29,270,171 円（4.5%）増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1項 商工費 681,001 千円（前年度 651,731 千円）

- ・プレミアム付商品券発行支援事業 79,850 千円
- ・西海ふるさと便事業 54,711 千円
- ・観光施設公衆無線 LAN（Wi-Fi）整備事業 14,663 千円
- ・西海市内宿泊誘客補助事業 7,140 千円

翌年度繰越額 13,817 千円の内訳は次のとおりである。

- ・伊佐ノ浦公園改修事業 10,706 千円
- ・八人ヶ岳公園改修事業 3,111 千円

8款 土木費

予算現額 1,145,785,000 円に対して、支出済額 1,033,777,811 円で、執行率 90.2%、翌年度繰越額 62,053,000 円を計上し、不用額 49,954,189 円となっている。歳出総額に占める割合は 4.5%である。前年度比較において 86,012,990 円（7.7%）減少している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1項 土木管理費 189,375 千円（前年度 181,460 千円）

- ・道路パトロール強化事業 6,386 千円

2項 道路橋梁費 304,982 千円（前年度 364,362 千円）

3項 河川費 198,213 千円（前年度 105,338 千円）

- ・災害関連地域防災がけ崩れ対策事業（繰越分） 58,820 千円

翌年度繰越額 52,969 千円の内訳は次のとおりである。

- ・河川改修事業 12,000 千円
- ・高地（3）地区急傾斜地崩壊対策事業 40,969 千円

4項 港湾費 61,010 千円（前年度 42,081 千円）

5項 都市計画費 4,464 千円（前年度 7,219 千円）

6項 住宅費 275,733 千円（前年度 419,331 千円）

- ・旧徳万団地解体事業（繰越分） 45,141 千円
- ・市営住宅解体事業 7,525 千円
- ・子育て応援住宅建築支援事業 4,800 千円

9款 消防費

予算現額 862,818,000 円に対して、支出済額 746,918,673 円で、執行率 86.6%、翌年度繰越額 86,442,000 円を計上し、不用額 29,457,327 円となっている。歳出総額に占める割合は 3.2%である。前年度比較において 72,861,464 円（10.8%）増加している。

人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1項 消防費 746,919 千円（前年度 674,057 千円）

・消防団格納庫・詰所建設事業（繰越分）	77,588 千円
・消防団格納庫・詰所建設事業	55,379 千円
・小型動力ポンプ付積載車等購入事業	25,239 千円
・消防水利整備事業	12,281 千円
翌年度繰越額 86,442 千円の内訳は次のとおりである。	
・消防団格納庫・詰所建設事業	86,442 千円

10 款 教育費

予算現額 2,843,296,000 円に対して、支出済額 2,102,410,471 円で、執行率 73.9%、翌年度繰越額 643,260,000 円を計上し、不用額 97,625,529 円となっている。歳出総額に占める割合は 9.1%である。前年度比較において 47,467,110 円（2.3%）増加している。人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

1 項 教育総務費 358,846 千円（前年度 352,872 千円）	
・教職員住宅改修事業	36,286 千円
・統合型校務支援システム導入事業	5,009 千円
2 項 小学校費 493,016 千円（前年度 765,405 千円）	
・大崎小学校施設等整備事業	209,230 千円
・小学校 I C T 化事業	33,887 千円
・小学校遊具更新事業	13,901 千円
翌年度繰越額 86,085 千円の内訳は次のとおりである。	
・西海北小学校施設等整備事業	86,085 千円
3 項 中学校費 394,480 千円（前年度 203,037 千円）	
・西彼中学校施設等整備事業（繰越分）	208,713 千円
・中学校 I C T 化事業	11,867 千円
・大瀬戸中学校施設等整備事業	6,962 千円
・西海中学校施設等整備事業	4,886 千円
翌年度繰越額 539,318 千円の内訳は次のとおりである。	
・西海中学校施設等整備事業	281,368 千円
・大瀬戸中学校施設等整備事業	257,950 千円
4 項 社会教育費 346,994 千円（前年度 347,434 千円）	
・大島図書館改修事業	36,147 千円
・西海歴史民俗資料館改修事業	8,373 千円
翌年度繰越額 17,857 千円の内訳は次のとおりである。	
・西海歴史民俗資料館改修事業	17,857 千円
5 項 保健体育費 509,074 千円（前年度 385,189 千円）	
・西海スポーツガーデン体育館改修事業	152,383 千円

11 款 災害復旧費

予算現額 1,458,994,000 円に対して、支出済額 893,591,878 円で、執行率 61.2%、翌年度繰越額 480,491,000 円を計上し、不用額 84,911,122 円となっている。歳出総額に占める割合は 3.9%である。前年度比較において 592,755,698 円（197.0%）増加している。人件費を除く主な執行业は次のとおりである。

- 1 項 農林水産施設災害復旧費 467,598 千円（前年度 152,695 千円）
 翌年度繰越額 480,491 千円の内訳は次のとおりである。
- ・ 林道施設災害復旧事業(補助分) 274,908 千円
 - ・ 農地災害復旧事業（補助分） 3,383 千円
 - ・ 農業用施設災害復旧事業（補助分） 202,200 千円
- 2 項 公共土木施設災害復旧費 378,630 千円（前年度 114,824 千円）
- 3 項 その他公共・公用施設災害復旧費 47,364 千円（前年度 33,318 千円）

12 款 公債費

予算現額 2,077,723,000 円に対して、支出済額 2,077,260,148 円で、執行率 100.0%、不用額 462,852 円となっている。歳出総額に占める割合は 9.0%である。前年度比較において 888,393,739 円（30.0%）減少している。

- 1 項 公債費 2,077,260 千円（前年度 2,965,654 千円）
- ・ 市債償還元金 2,031,365 千円
 - ・ 市債償還利子 45,896 千円

公債費比率等の推移は図表 1 3 のとおりとなっている。

図表 1 3 決算状況の推移

（単位：千円）

区 分	3 0 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度
歳 入 総 額	22,684,658	23,902,374	28,644,844	26,157,433	24,433,543
歳 出 総 額	21,716,766	22,745,686	27,465,979	24,706,421	23,071,838
実質公債費比率	△1.4%	△2.1%	△2.8%	△1.8%	△0.9%
公債費比率	-	-	-	-	-
債務負担行為を含む公債費比率	-	-	-	-	-
起債制限比率	-	-	-	-	-
基金現在高	16,071,709	15,701,566	15,748,550	16,431,927	17,329,382
地方債現在高	20,047,426	20,341,163	20,616,442	19,801,527	19,719,363
経常収支比率	84.8%	87.7%	83.6%	83.9%	85.6
実質収支比率	7.01%	8.52%	6.79%	9.54%	8.73%

※基金現在高は、土地開発基金及び長崎県証紙購入基金を除いた数値である。

13 款 諸支出金

予算現額 62,435,000 円に対して、支出済額 62,435,000 円で、執行率 100.0%、不用額 0 円となっている。歳出総額に占める割合は 0.3%である。前年度比較において 1,638,000 円

1 項 公営企業費 62,435 千円（前年度 64,073 千円）

・ 交通船特別会計繰出金

62,435 千円

特 別 会 計

特別会計の種類

国民健康保険特別会計
後期高齢者医療特別会計
交通船特別会計
介護保険特別会計
工業団地整備事業特別会計

国民健康保険特別会計（事業勘定）

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
国民健康保険税	585,543,000	684,509,012	620,389,679	106.0	90.6	16.6	6,530,067	57,589,266
使用料及び手数料	103,000	135,013	135,013	131.1	100.0	0.0	0	0
国庫支出金	2,000	0	0	0.0		0.0	0	0
県支出金	2,930,172,000	2,771,980,090	2,771,980,090	94.6	100.0	74.2	0	0
連合会支出金	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
財産収入	3,000	4,147	4,147	138.2	100.0	0.0	0	0
繰入金	272,846,000	263,985,273	263,985,273	96.8	100.0	7.1	0	0
繰越金	74,498,000	74,498,486	74,498,486	100.0	100.0	2.0	0	0
諸収入	8,021,000	6,326,568	5,868,830	73.2	92.8	0.2	0	457,738
市債	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
合 計	3,871,190,000	3,801,438,589	3,736,861,518	96.5	98.3	100.0	6,530,067	58,047,004

国民健康保険特別会計（事業勘定）

1. 決算の概要

令和4年度における決算は歳入総額 3,736,861,518 円、歳出総額 3,635,474,680 円で、歳入歳出差引残額 101,386,838 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 101,386,838 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算額は、予算現額 3,871,190,000 円、調定額 3,801,438,589 円に対し収入済額 3,736,861,518 円で、収入率 98.3%、対前年度比で 26,762,313 円、0.7%の減少となっている。不納欠損額 6,530,067 円を計上し、収入未済額は 58,047,004 円となっている。

国保税収入で、不納欠損額 6,530,067 円を計上し、収入未済額は 57,589,266 円となっており、内訳は、現年課税分調定額 619,977,300 円に対し収入済額 606,458,301 円で滞納繰越分調定額 64,531,712 円に対し収入済額 13,931,378 円となっている。

繰入金においては、保険基盤安定繰入金及び財政安定化支援事業繰入金など一般会計から 263,985,273 円が繰入れられている。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
607,075,000	715,901,148	645,697,525	106.4	90.2	17.2	5,647,544	64,556,079	△ 25,307,846	△ 3.9
103,000	123,875	123,875	120.3	100.0	0.0	0	0	11,138	9.0
920,000	918,000	918,000	99.8	100.0	0.0	0	0	△ 918,000	△ 100.0
2,946,475,000	2,732,718,212	2,732,718,212	92.7	100.0	72.6	0	0	39,261,878	1.4
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
3,000	3,674	3,674	122.5	100.0	0.0	0	0	473	12.9
266,809,000	263,319,376	263,319,376	98.7	100.0	7.0	0	0	665,897	0.3
114,702,000	114,702,056	114,702,056	100.0	100.0	3.0	0	0	△ 40,203,570	△ 35.1
9,021,000	6,621,217	6,141,113	68.1	92.7	0.2	2,366	477,738	△ 272,283	△ 4.4
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
3,945,110,000	3,834,307,558	3,763,623,831	95.4	98.2	100.0	5,649,910	65,033,817	△ 26,762,313	△ 0.7

なお、不納欠損の内容は次のとおりとなっている。

国民健康保険税

(単位：人・件・円)

区 分			国民健康保険税		
			人数	件数	税額
地 方 税 法	第15条の7第4項	執行停止3年経過	30	125	1,793,819
	第15条の7第5項	即時消滅等	0	0	0
	第18条第1項	時効完成	44	212	4,736,248
		(うち、執行停止に係るもの)	44	212	4,736,248
合 計			74	337	6,530,067

国民健康保険特別会計（事業勘定）

図表 1 0

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	41,416,000	36,688,761	88.6	1.0	0	4,727,239
保 険 給 付 費	2,791,590,000	2,634,434,847	94.4	72.5	0	157,155,153
国民健康保険事業費納付金	854,486,000	825,562,958	96.6	22.7	0	28,923,042
共 同 事 業 抛 出 金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
財政安定化基金抛出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
保 健 事 業 費	59,163,000	42,976,186	72.6	1.2	0	16,186,814
基 金 積 立 金	32,930,000	32,930,000	100.0	0.9	0	0
公 債 費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸 支 出 金	63,306,000	62,881,928	99.3	1.7	0	424,072
予 備 費	28,296,000	0	0.0	0.0	0	28,296,000
合 計	3,871,190,000	3,635,474,680	93.9	100.0	0	235,715,320

（2）歳 出

令和4年度歳出決算額は、予算現額 3,871,190,000 円に対して、支出済額 3,635,474,680 円で、執行率 93.9%、不用額 235,715,320 円となっている。前年度比較において 53,650,665 円（1.5%）減少している。

1款 総務費

予算現額 41,416,000 円に対して、支出済額 36,688,761 円で、執行率 88.6%、不用額 4,727,239 円となっている。前年度比較において 3,669,241 円（11.1%）増加している。

2款 保険給付費

予算現額 2,791,590,000 円に対して、支出済額 2,634,434,847 円で、執行率 94.4%、不用額 157,155,153 円となっている。前年度比較において 18,768,176 円（0.7%）増加している。

3款 国民健康保険事業納付金

予算現額 854,486,000 円に対して、支出済額 825,562,958 円で、執行率 96.6%、不用額 28,923,042 円となっている。前年度比較において 66,415,366 円（7.4%）減少している。

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
38,450,000	33,019,520	85.9	0.9	0	5,430,480	3,669,241	11.1
2,817,854,000	2,615,666,671	92.8	70.9	0	202,187,329	18,768,176	0.7
891,980,000	891,978,324	100.0	24.2	0	1,676	△ 66,415,366	△ 7.4
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
1,000	0	0.0	0.00	0	1,000	0	-
62,745,000	45,104,614	71.9	1.2	0	17,640,386	△ 2,128,428	△ 4.7
53,314,000	53,313,431	100.0	1.4	0	569	△ 20,383,431	△ 38.2
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
52,572,000	50,042,785	95.2	1.4	0	2,529,215	12,839,143	25.7
28,192,000	0	0.0	0.0	0	28,192,000	0	-
3,945,110,000	3,689,125,345	93.5	100.0	0	255,984,655	△ 53,650,665	△ 1.5

6 款 保健事業費

予算現額 59,163,000 円に対して、支出済額 42,976,186 円で、執行率 72.6%、不用額 16,186,814 円となっている。前年度比較において 2,128,428 円 (4.7%) 減少している。

7 款 基金積立金

予算現額 32,930,000 円に対して、支出済額 32,930,000 円で、執行率 100.0%、不用額 0 円となっている。前年度比較において 20,383,431 円 (38.2%) 減少している。

・ 財政調整基金積立金

32,930 千円

9 款 諸支出金

予算現額 63,306,000 円に対して、支出済額 62,881,928 円で、執行率 99.3%、不用額 424,072 円となっている。前年度比較において 12,839,143 円 (25.7%) 増加している。

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
診 療 収 入	38,081,000	34,524,765	34,524,765	90.7	100.0	17.5	0	0
使用料及び手数料	1,302,000	1,574,924	1,574,924	121.0	100.0	0.8	0	0
県 支 出 金	1,639,000	1,639,000	1,639,000	100.0	100.0	0.8	0	0
繰 入 金	137,283,000	137,203,003	137,203,003	99.9	100.0	69.6	0	0
繰 越 金	16,091,000	16,092,579	16,092,579	100.0	100.0	8.2	0	0
諸 収 入	3,866,000	4,520,037	4,520,037	116.9	100.0	2.3	0	0
市 債	1,500,000	1,500,000	1,500,000	100.0	100.0	0.8	0	0
合 計	199,762,000	197,054,308	197,054,308	98.6	100.0	100.0	0	0

国民健康保険特別会計（直診勘定）

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 197,054,308 円、歳出総額 161,881,700 円で、歳入歳出差引残額 35,172,608 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 35,172,608 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は、予算現額 199,762,000 円、調定額 197,054,308 円に対し収入済額 197,054,308 円で、収入率 100%、対前年度比で 28,089,287 円、16.6%の増加となっている。不納欠損額はない。

1 款 診療収入

調定額 34,524,765 円に対し収入済額 34,524,765 円で、収入率 100%、対前年度比で 3,997,311 円、10.4%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 17.5%である。

2 款 使用料及び手数料

調定額 1,574,924 円に対し収入済額 1,574,924 円で、収入率 100%、対前年度比で 202,520 円、14.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.8%である。

3 款 県支出金

調定額 1,639,000 円に対し収入済額 1,639,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,639,000 円の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.8%である。

4 款 繰入金

調定額 137,203,003 円に対し収入済額 137,203,003 円で、収入率 100%、対前年度比で 32,516,720 円、31.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 69.6%である。

- ・ 一般会計繰入金 91,159 千円
- ・ 事業勘定繰入金 46,044 千円

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
50,175,000	38,522,076	38,522,076	76.8	100.0	22.8	0	0	△ 3,997,311	△ 10.4
1,404,000	1,372,404	1,372,404	97.7	100.0	0.8	0	0	202,520	14.8
								1,639,000	
112,388,000	104,686,283	104,686,283	93.1	100.0	62.0	0	0	32,516,720	31.1
22,002,000	22,002,523	22,002,523	100.0	100.0	13.0	0	0	△ 5,909,944	△ 26.9
3,120,000	2,381,735	2,381,735	76.3	100.0	1.4	0	0	2,138,302	89.8
								1,500,000	
189,089,000	168,965,021	168,965,021	89.4	100.0	100.0	0	0	28,089,287	16.6

5 款 繰越金

調定額 16,092,579 円に対し収入済額 16,092,579 円で、収入率 100%、対前年度比で 5,909,944 円、26.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 8.2%である。

6 款 諸収入

調定額 4,520,037 円に対し収入済額 4,520,037 円で、収入率 100%、対前年度比で 2,138,302 円、89.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 2.3%である。

7 款 市債

調定額 1,500,000 円に対し収入済額 1,500,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,500,000 円の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.8%である。

国民健康保険特別会計（直営診療施設勘定）

図表 1 0

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	144,135,000	130,351,920	90.4	80.5	0	13,783,080
医 業 費	45,970,000	22,878,302	49.8	14.1	0	23,091,698
公 債 費	8,656,000	8,651,478	99.9	5.3	0	4,522
施 設 整 備 費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
予 備 費	1,000,000	0	0.0	0.0	0	1,000,000
合 計	199,762,000	161,881,700	81.0	100.0	0	37,880,300

（2）歳 出

令和4年度歳出決算額は、予算現額 199,762,000 円に対して、支出済額 161,881,700 円で、執行率 81.0%、不用額 37,880,300 円となっている。前年度比較において 9,009,258 円（5.9%）増加している。

1款 総務費

予算現額 144,135,000 円に対して、支出済額 130,351,920 円で、執行率 90.4%、不用額 13,783,080 円となっている。前年度比較において 10,546,204 円（8.8%）増加している。

2款 医業費

予算現額 45,970,000 円に対して、支出済額 22,878,302 円で、執行率 49.8%、不用額 23,091,698 円となっている。前年度比較において 2,625,380 円（10.3%）減少している。

- ・医薬品衛生材料費 15,490 千円
- ・医療用機械器具費 4,778 千円
- ・医療用消耗器材費 1,702 千円

3款 公債費

予算現額 8,656,000 円に対して、支出済額 8,651,478 円で、執行率 99.9%、不用額 4,522 円となっている。前年度比較において 1,088,434 円（14.4%）増加している。

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
134,599,000	119,805,716	89.0	78.4	0	14,793,284	10,546,204	8.8
45,912,000	25,503,682	55.5	16.7	0	20,408,318	△ 2,625,380	△ 10.3
7,577,000	7,563,044	99.8	4.9	0	13,956	1,088,434	14.4
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
1,000,000	0	0.0	0.00	0	1,000,000	0	-
189,089,000	152,872,442	80.8	100.0	0	36,216,558	9,009,258	5.9

後期高齢者医療特別会計

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
後期高齢者医療保険料	262,563,000	257,625,113	257,133,590	97.9	99.8	64.5	0	491,523
使用料及び手数料	27,000	23,700	23,700	87.8	100.0	0.0	0	0
繰 入 金	137,669,000	137,446,745	137,446,745	99.8	100.0	34.5	0	0
繰 越 金	3,606,000	3,606,035	3,606,035	100.0	100.0	0.9	0	0
諸 収 入	545,000	486,304	486,304	89.2	100.0	0.1	0	0
合 計	404,410,000	399,187,897	398,696,374	98.6	99.9	100.0	0	491,523

後期高齢者医療特別会計

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 398,696,374 円、歳出総額 394,073,845 円で、歳入歳出差引残額 4,622,529 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 4,622,529 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は、予算現額 404,410,000 円、調定額 399,187,897 円に対し収入済額 398,696,374 円、収入率 99.9%で収入未済額は 491,523 円となっている。対前年度比で 16,989,909 円、4.5%の増加となっており、不納欠損額はない。

1 款 後期高齢者医療保険料

調定額 257,625,113 円に対し収入済額 257,133,590 円で、収入率 99.8%、対前年度比で 13,338,761 円、5.5%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 64.5%である。収入未済額は 491,523 円となっている。

2 款 使用料及び手数料

調定額 23,700 円に対し収入済額 23,700 円で、収入率 100%、対前年度比で 5,300 円、28.8%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.0%である。

3 款 繰入金

調定額 137,446,745 円に対し収入済額 137,446,745 円で、収入率 100%、対前年度比で 199,691 円、0.1%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 34.5%である。

- ・ 事務費繰入金 15,515 千円
- ・ 保険基盤安定繰入金 121,932 千円

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
248,912,000	243,743,442	243,794,829	97.9	100.0	63.9	0	△ 51,387	13,338,761	5.5
30,000	18,400	18,400	61.3	100.0	0.0	0	0	5,300	28.8
137,770,000	137,646,436	137,646,436	99.9	100.0	36.1	0	0	△ 199,691	△ 0.1
26,000	26,100	26,100	100.4	100.0	0.0	0	0	3,579,935	13716.2
331,000	220,700	220,700	66.7	100.0	0.1	0	0	265,604	120.3
387,069,000	381,655,078	381,706,465	98.6	100.0	100.0	0	△ 51,387	16,989,909	4.5

4 款 繰越金

調定額 3,606,035 円に対し収入済額 3,606,035 円で、収入率 100%、対前年度比で 3,579,935 円、13,716.2%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.9%である。

5 款 諸収入

調定額 486,304 円に対し収入済額 486,304 円で、収入率 100%、対前年度比で 265,604 円、120.3%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 0.1%である。

後期高齢者医療特別会計

図表 10

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	1,592,000	1,319,500	82.9	0.3	0	272,500
後期高齢者医療広域連 合 納 付 金	402,638,000	392,639,045	97.5	99.6	0	9,998,955
諸 支 出 金	180,000	115,300	64.1	0.0	0	64,700
合 計	404,410,000	394,073,845	97.4	100.0	0	10,336,155

(2) 歳 出

令和4年度歳出決算額は、予算現額 404,410,000 円に対して、支出済額 394,073,845 円で、執行率 97.4%、不用額 10,336,155 円となっている。前年度比較において 15,973,415 円（4.2%）増加している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1款 総務費

予算現額 1,592,000 円に対して、支出済額 1,319,500 円で、執行率 82.9%、不用額 272,500 円となっている。前年度比較において 289,193 円（28.1%）増加している。

2款 後期高齢者医療広域連合納付金

予算現額 402,638,000 円に対して、支出済額 392,639,045 円で、執行率 97.5%、不用額 9,998,955 円となっている。前年度比較において 15,786,622 円（4.2%）増加している。

- ・後期高齢者医療保険料負担金 256,172 千円
- ・後期高齢者医療保険基盤安定負担金 121,932 千円
- ・後期高齢者医療広域連合事務費負担金 14,535 千円

3款 諸支出金

予算現額 180,000 円に対して、支出済額 115,300 円で、執行率 64.1%、不用額 64,700 円となっている。前年度比較において 102,400 円（47.0%）減少している。

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
1,183,000	1,030,307	87.1	0.3	0	152,693	289,193	28.1
385,554,000	376,852,423	97.7	99.7	0	8,701,577	15,786,622	4.2
332,000	217,700	65.6	0.1	0	114,300	△ 102,400	△ 47.0
387,069,000	378,100,430	97.7	100.0	0	8,968,570	15,973,415	4.2

交通船特別会計

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
使用料及び手数料	52,281,000	49,227,840	49,227,840	94.2	100.0	36.8	0	0
繰 入 金	62,435,000	62,435,000	62,435,000	100.0	100.0	46.7	0	0
繰 越 金	6,175,000	6,175,341	6,175,341	100.0	100.0	4.6	0	0
財 産 収 入	1,000	0	0	0.0		0.0	0	0
諸 収 入	13,576,000	15,771,736	15,771,736	116.2	100.0	11.8	0	0
合 計	134,468,000	133,609,917	133,609,917	99.4	100.0	100.0	0	0

交通船特別会計

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 133,609,917 円、歳出総額 125,252,595 円で、歳入歳出差引残額 8,357,322 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 8,357,322 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は予算現額 134,468,000 円、調定額 133,609,917 円に対し収入済額 133,609,917 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,505,798 円、1.1%の減少となっている。不納欠損額はない。

1 款 使用料及び手数料

調定額 49,227,840 円に対し収入済額 49,227,840 円で、収入率 100%、対前年度比で 998,280 円、2.0%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 36.8%である。

2 款 繰入金

調定額 62,435,000 円に対し収入済額 62,435,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,638,000 円、2.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 46.7%である。

・ 一般会計繰入金 62,435 千円

3 款 繰越金

調定額 6,175,341 円に対し収入済額 6,175,341 円で、収入率 100%、対前年度比で 2,617,375 円、73.6%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 4.6%である。

5 款 諸収入

調定額 15,771,736 円に対し収入済額 15,771,736 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,486,893 円、8.6%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 11.8%である。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
50,548,000	50,226,120	50,226,120	99.4	100.0	37.2	0	0	△ 998,280	△ 2.0
64,073,000	64,073,000	64,073,000	100.0	100.0	47.4	0	0	△ 1,638,000	△ 2.6
3,557,000	3,557,966	3,557,966	100.0	100.0	2.6	0	0	2,617,375	73.6
1,000	0	0	0.0		0.0	0	0	0	
16,469,000	17,258,629	17,258,629	104.8	100.0	12.8	0	0	△ 1,486,893	△ 8.6
134,648,000	135,115,715	135,115,715	100.3	100.0	100.0	0	0	△ 1,505,798	△ 1.1

図表 10

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
事業費	133,968,000	125,252,595	93.5	100.0	0	8,715,405
予備費	500,000	0	0.0	0.0	0	500,000
合計	134,468,000	125,252,595	93.1	100.0	0	9,215,405

(2) 歳出

令和4年度歳出決算額は、予算現額 134,468,000 円に対して、支出済額 125,252,595 円で、執行率 93.1%、不用額 9,215,405 円となっている。前年度比較において 3,687,779 円、(2.9%) 減少している。

1款 事業費

予算現額 133,968,000 円に対して、支出済額 125,252,595 円で、執行率 93.5%、不用額 8,715,405 円となっている。前年度比較において 3,687,779 円 (2.9%) 減少している。

- ・施設修繕費 42,894 千円
- ・動力費 20,348 千円

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
134,148,000	128,940,374	96.1	100.0	0	5,207,626	△ 3,687,779	△ 2.9
500,000	0	0.0	0.0	0	500,000	0	-
134,648,000	128,940,374	95.8	100.0	0	5,707,626	△ 3,687,779	△ 2.9

介護保険特別会計（保険事業勘定）

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
保 険 料	611,056,000	628,570,745	624,461,535	102.2	99.3	17.0	300,200	3,809,010
使用料及び手数料	151,000	123,582	123,582	81.8	100.0	0.0	0	0
国 庫 支 出 金	929,793,000	974,088,829	974,088,829	104.8	100.0	26.6	0	0
支 払 基 金 交 付 金	953,315,000	921,718,173	921,718,173	96.7	100.0	25.2	0	0
県 支 出 金	529,933,000	514,540,679	514,540,679	97.1	100.0	14.0	0	0
財 産 収 入	4,000	4,599	4,599	115.0	100.0	0.0	0	0
繰 入 金	561,365,000	526,232,527	526,232,527	93.7	100.0	14.4	0	0
繰 越 金	102,055,000	102,055,842	102,055,842	100.0	100.0	2.8	0	0
諸 収 入	5,000	102,076	102,076	2041.5	100.0	0.0	0	0
合 計	3,687,677,000	3,667,437,052	3,663,327,842	99.3	99.9	100.0	300,200	3,809,010

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 3,663,327,842 円、歳出総額 3,518,211,442 円で、歳入歳出差引残額 145,116,400 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 145,116,400 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は、予算現額 3,687,677,000 円、調定額 3,667,437,052 円に対し収入済額 3,663,327,842 円で、収入率 99.9%、対前年度比で 26,080,342 円、0.7%の減少となっている。不納欠損額 300,200 円を計上し収入未済額は 3,809,010 円となっている。

保険料の内訳は、現年度分調定額 624,419,800 円に対し、収入済額 623,078,830 円で収入率 99.8%、滞納繰越分調定額 4,150,945 円に対し、収入済額 1,382,705 円で収入率 33.3%となっている。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
585,882,000	631,845,332	627,134,132	107.0	99.3	17.0	641,575	4,069,625	△ 2,672,597	△ 0.4
130,000	120,000	120,000	92.3	100.0	0.0	0	0	3,582	3.0
980,838,000	985,664,031	985,664,031	100.5	100.0	26.7	0	0	△ 11,575,202	△ 1.2
954,959,000	924,664,000	924,664,000	96.8	100.0	25.1	0	0	△ 2,945,827	△ 0.3
532,530,000	528,846,356	528,846,356	99.3	100.0	14.3	0	0	△ 14,305,677	△ 2.7
1,928,000	1,929,209	1,929,209	100.1	100.0	0.1	0	0	△ 1,924,610	△ 99.8
557,053,000	534,401,625	534,401,625	95.9	100.0	14.5	0	0	△ 8,169,098	△ 1.5
86,558,000	86,558,272	86,558,272	100.0	100.0	2.3	0	0	15,497,570	17.9
43,000	90,559	90,559	210.6	100.0	0.0	0	0	11,517	12.7
3,699,921,000	3,694,119,384	3,689,408,184	99.7	99.9	100.0	641,575	4,069,625	△ 26,080,342	△ 0.7

介護保険特別会計（保険事業勘定）

図表 10

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
総 務 費	54,743,000	41,896,578	76.5	1.2	0	12,846,422
保 険 給 付 費	3,424,295,000	3,286,037,728	96.0	93.4	0	138,257,272
財政安定化基金拠出金	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
地 域 支 援 事 業 費	120,243,000	102,601,351	85.3	2.9	0	17,641,649
保 健 福 祉 事 業 費	1,375,000	824,815	60.0	0.0	0	550,185
基 金 積 立 金	51,476,000	51,470,599	100.0	1.5	0	5,401
公 債 費	1,000	0	0.0	0.0	0	1,000
諸 支 出 金	35,543,000	35,380,371	99.5	1.0	0	162,629
合 計	3,687,677,000	3,518,211,442	95.4	100.0	0	169,465,558

（2）歳 出

令和 4 年度歳出決算額は、予算現額 3,687,677,000 円に対して、支出済額 3,518,211,442 円で、執行率 95.4%、不用額 169,465,558 円となっている。前年度比較において 69,140,900 円（1.9%）減少している。

1款 総務費

予算現額 54,743,000 円に対して、支出済額 41,896,578 円で、執行率 76.5%、不用額 12,846,422 円となっている。前年度比較において 477,350 円（1.1%）減少している。

- ・ 認定調査事業 27,095 千円

2款 保険給付費

予算現額 3,424,295,000 円に対して、支出済額 3,286,037,728 円で、執行率 96.0%、不用額 138,257,272 円となっている。前年度比較において 66,470,319 円（2.0%）減少している。

- ・ 施設介護サービス給付費 1,443,588 千円
- ・ 居宅介護サービス給付費 732,872 千円
- ・ 地域密着型介護サービス給付費 643,455 千円

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
48,198,000	42,373,928	87.9	1.2	0	5,824,072	△ 477,350	△ 1.1
3,446,976,000	3,352,508,047	97.3	93.5	0	94,467,953	△ 66,470,319	△ 2.0
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
120,279,000	108,763,655	90.4	3.0	0	11,515,345	△ 6,162,304	△ 5.7
1,438,000	892,656	62.1	0.00	0	545,344	△ 67,841	△ 7.6
38,269,000	38,263,209	100.0	1.1	0	5,791	13,207,390	34.5
1,000	0	0.0	0.0	0	1,000	0	-
44,759,000	44,550,847	99.5	1.2	0	208,153	△ 9,170,476	△ 20.6
3,699,921,000	3,587,352,342	97.0	100.0	0	112,568,658	△ 69,140,900	△ 1.9

4 款 地域支援事業費

予算現額 120,243,000 円に対して、支出済額 102,601,351 円で、執行率 85.3%、不用額 17,641,649 円となっている。前年度比較において 6,162,304 円 (5.7%) 減少している。

- ・ 第 1 号通所事業 35,647 千円
- ・ 生活支援コーディネート事業 7,653 千円
- ・ 認知症初期集中支援事業 3,580 千円

5 款 保健福祉事業費

予算現額 1,375,000 円に対して、支出済額 824,815 円で、執行率 60.0%、不用額 550,185 円となっている。前年度比較において 67,841 円 (7.6%) 減少している。

6 款 基金積立金

予算現額 51,476,000 円に対して、支出済額 51,470,599 円で、執行率 100.0%、不用額 5,401 円となっている。前年度比較において 13,207,390 円 (34.5%) 増加している。

8 款 諸支出金

予算現額 35,543,000 円に対して、支出済額 35,380,371 円で、執行率 99.5%、不用額 162,629 円となっている。前年度比較において 9,170,476 円 (20.6%) 減少している。

- ・ 国県等負担金補助金返還金 35,041 千円

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
サ ー ビ ス 収 入	17,108,000	17,140,200	17,140,200	100.2	100.0	88.9	0	0
繰 越 金	2,145,000	2,145,528	2,145,528	100.0	100.0	11.1	0	0
合 計	19,253,000	19,285,728	19,285,728	100.2	100.0	100.0	0	0

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 19,285,728 円、歳出総額 18,221,291 円で、歳入歳出差引残額 1,064,437 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 1,064,437 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は、予算現額 19,253,000 円、調定額 19,285,728 円に対し収入済額 19,285,728 円で、収入率 100%、対前年度比で 1,861,472 円、8.8%の減少となっている。不納欠損額はない。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調定額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
17,131,000	17,922,130	17,922,130	104.6	100.0	84.7	0	0	△ 781,930	△ 4.4
3,225,000	3,225,070	3,225,070	100.0	100.0	15.3	0	0	△ 1,079,542	△ 33.5
20,356,000	21,147,200	21,147,200	103.9	100.0	100.0	0	0	△ 1,861,472	△ 8.8

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

図表 10

区 分	令和 4年度					不用額 ①-②-③=④
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	
総 務 費	1,120,000	838,992	74.9	4.6	0	281,008
事 業 費	18,133,000	17,382,299	95.9	95.4	0	750,701
合 計	19,253,000	18,221,291	94.6	100.0	0	1,031,709

（2）歳 出

令和4年度歳出決算額は予算現額19,253,000円に対して、支出済額18,221,291円で、執行率94.6%、不用額1,031,709円となっている。前年度比較において780,381円(4.1%)減少している。

人件費を除く主な執行状況は次のとおりである。

1 款 総務費

予算現額1,120,000円に対して、支出済額838,992円で、執行率74.9%、不用額281,008円となっている。前年度比較において573,255円(40.6%)減少している。

2 款 事業費

予算現額18,133,000円に対して、支出済額17,382,299円で、執行率95.9%、不用額750,701円となっている。前年度比較において207,126円(1.2%)減少している。

・介護予防ケアマネジメント事業 17,382 千円

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
1,823,000	1,412,247	77.5	7.4	0	410,753	△ 573,255	△ 40.6
18,533,000	17,589,425	94.9	92.6	0	943,575	△ 207,126	△ 1.2
20,356,000	19,001,672	93.3	100.0	0	1,354,328	△ 780,381	△ 4.1

工業団地整備事業特別会計

図表 6

区 分	令和 4年度							
	予算現額 ①	調 定 額 ②	収入済額 ③	執行率 ③/①	収入率 ③/②	③の構 成比率	不納欠損額 ④	収入未済額 ②-③-④
県 支 出 金	115,888,000	115,888,000	115,888,000	100.0	100.0	39.9	0	0
繰 入 金	11,985,000	11,985,000	11,985,000	100.0	100.0	4.1	0	0
繰 越 金	50,223,000	50,223,705	50,223,705	100.0	100.0	17.3	0	0
市 債	120,000,000	112,500,000	112,500,000	93.8	100.0	38.7	0	0
合 計	298,096,000	290,596,705	290,596,705	97.5	100.0	100.0	0	0

工業団地整備事業特別会計

1. 決算の概要

令和4年度における決算は、歳入総額 290,596,705 円、歳出総額 287,873,408 円で、歳入歳出差引残額 2,723,297 円、翌年度へ繰越すべき財源 0 円で、実質収支額は 2,723,297 円の黒字となっている。

(1) 歳 入

令和4年度歳入決算は、予算現額 298,096,000 円、調定額 290,596,705 円に対し収入済額 290,596,705 円で、収入率 100%、対前年度比で 223,187,418 円、43.4%の減少となっている。不納欠損額はない。

減少の要因は、大島地区工業団地整備事業の進捗に伴う事業費の減によるものである。

1 款 県支出金

調定額 115,888,000 円に対し収入済額 115,888,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 91,445,000 円、374.1%の増加となっている。歳入全体に占める割合は 39.9%である。

2 款 繰入金

調定額 11,985,000 円に対し収入済額 11,985,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 54,153,000 円、81.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 4.1%である。

3 款 繰越金

調定額 50,223,705 円に対し収入済額 50,223,705 円で、収入率 100%、対前年度比で 54,279,418 円、51.9%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 17.3%である。

4 款 市債

調定額 112,500,000 円に対し収入済額 112,500,000 円で、収入率 100%、対前年度比で 206,200,000 円、64.7%の減少となっている。歳入全体に占める割合は 38.7%である。

款別歳入決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度								前年度比較	
予算現額 ⑤	調 定 額 ⑥	収入済額 ⑦	執行率 ⑦/⑤	収入率 ⑦/⑥	⑦の構 成比率	不納欠損額 ⑧	収入未済額 ⑥-⑦-⑧	増 減 ③-⑦=⑨	増減率 ⑨/⑦
24,443,000	24,443,000	24,443,000	100.0	100.0	4.8	0	0	91,445,000	374.1
66,138,000	66,138,000	66,138,000	100.0	100.0	12.9	0	0	△ 54,153,000	△ 81.9
104,503,000	104,503,123	104,503,123	100.0	100.0	20.3	0	0	△ 54,279,418	△ 51.9
438,700,000	318,700,000	318,700,000	72.6	100.0	62.0	0	0	△ 206,200,000	△ 64.7
633,784,000	513,784,123	513,784,123	81.1	100.0	100.0	0	0	△ 223,187,418	△ 43.4

工業団地整備事業特別会計

図表 10

区 分	令和 4年度					
	予算現額 ①	支出済額 ②	執行率 ②/①	②の構 成比率	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③=④
事業費	286,111,000	275,889,000	96.4	95.8	0	10,222,000
公債費	11,985,000	11,984,408	100.0	4.2	0	592
合計	298,096,000	287,873,408	96.6	100.0	0	10,222,592

(2) 歳 出

令和4年度歳出決算額は予算現額 298,096,000 円に対して、支出済額 287,873,408 円で、執行率 96.6%、不用額 10,222,592 円となっている。前年度比較において 175,687,010 円 (37.9%) 減少している。

減少の要因は、大島地区工業団地整備事業の進捗に伴う事業費の減によるものである。

1 款 事業費

予算現額 286,111,000 円に対して、支出済額 275,889,000 円で、執行率 96.4%、不用額 10,222,000 円となっている。前年度比較において 177,353,822 円 (39.1%) 減少している。

- ・大島地区工業団地整備事業 115,889 千円
- ・大島地区工業団地整備事業（繰越分） 160,000 千円

2 款 公債費

予算現額 11,985,000 円に対して、支出済額 11,984,408 円で、執行率 100.0%、不用額 592 円となっている。前年度比較において 1,666,812 円 (16.2%) 増加している。

- ・市債償還元金 3,950 千円
- ・市債償還利子 8,035 千円

款別歳出決算前年度比較表

(単位：円・%)

令和 3年度						前年度比較	
予算現額 ⑤	支出済額 ⑥	執行率 ⑥/⑤	⑥の構 成比率	翌年度繰越額 ⑦	不用額 ⑤-⑥-⑦=⑧	増 減 ②-⑥=⑨	増減率 ⑨/⑥
623,466,000	453,242,822	72.7	97.8	170,222,000	1,178	△ 177,353,822	△ 39.1
10,318,000	10,317,596	100.0	2.2	0	404	1,666,812	16.2
633,784,000	463,560,418	73.1	100.0	170,222,000	1,582	△ 175,687,010	△ 37.9

財産に関する調書

財産に関する調書

各会計における公有財産、有価証券、物品、債権及び基金に関する決算年度中における増減高並びに令和4年度末現在高は、次のとおりである。

一般会計

1. 公有財産

(1) 土地及び建物

土地は前年度と比較して 15,061 m²増加し、24,179,861 m²となっている。

建物の総面積は、前年度と比較して 1,858 m²減少し、312,636 m²となっている。

(2) 山林

山林面積は、本年度中の増減はなく、19,271,763 m²となっている。

立木については、年度中 1,505 m³の減少により、年度末で 251,173 m³の推定量となっている。

(3) 動産

動産については、前年度と比較して船舶1隻・16総トンの増加となっており、船舶2隻・31総トン、浮棧橋6個である。

(4) 有価証券

有価証券については、年度中の増減はなく、崎戸商船株式会社他4社の株券で、本年度末現在高は、85,726,000円である。

(5) 出資による権利

令和4年度の出資金は、1,087,947円減少し、本年度末出資残高は、財団法人長崎県国際交流協会他17先で316,380,151円となっている。

2. 物品

庁用車両については、前年度と比較して1台減少し、年度末の車両保有高は、164台である。

3. 債権

債権は、年度中に 8,335,800円減少し、年度末貸付現在高は 196,040,896円となっている。

4. 基金

財政調整基金等について、関係諸帳簿と照合した結果、調書の記載事項に誤りは認められなかった。

各基金の明細及び令和4年度末の現在高は次のとおりである。

基金現在高表

(単位：円)

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
財政調整基金	2,938,447,000	253,843,000	3,192,290,000
減債基金	1,036,820,000	5,000	1,036,825,000
地域振興基金	5,017,501,000	△ 38,466,000	4,979,035,000
社会福祉基金	2,067,128,035	△ 17,500,000	2,049,628,035
災害弔慰金等基金	21,387,925	△ 719,666	20,668,259
生活環境整備基金	5,382,101	79	5,382,180
ふるさと水と土保全対策基金	122,324,206	△ 466,000	121,858,206
農業振興基金	186,240,235	0	186,240,235
漁業振興基金	199,444,000	△ 7,639,000	191,805,000
商工観光振興基金	50,385,765	0	50,385,765
公共住宅整備基金	15,303,321	206	15,303,527
合併市町村振興基金	2,889,754,000	0	2,889,754,000
教育振興基金	9,003,134	△ 199,868	8,803,266
奨学資金貸付基金	100,000,000	△ 72,000	99,928,000
ふるさと西海応援寄附金基金	542,102,000	176,458,000	718,560,000
西海市過疎地域持続的発展基金	238,191,000	38,303,000	276,494,000
西海市公共交通整備基金	32,940,207	9,277,317	42,217,524
子ども夢基金	515,325,820	△ 4,690,833	510,634,987
防衛施設周辺公園管理基金	14,136,032	△ 2,999,435	11,136,597
西海市西海地区スクールバス運行事業基金	40,038,075	△ 9,998,399	30,039,676
青少年スポーツ振興基金	371,742,138	△ 9,362,929	362,379,209
林業振興基金	11,043,088	11,309,579	22,352,667
防衛施設周辺自治会運営支援事業基金	7,286,963	373,290	7,660,253
庁舎建設整備基金	0	500,000,000	500,000,000
長崎県証紙購買基金	0	1,000,000	1,000,000
土地開発基金	285,194,824	299,864	285,494,688
計	16,717,120,869	898,755,205	17,615,876,074

貸付基金

(単位：円)

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
奨学資金貸付基金(基金の額)	100,000,000	△ 72,000	99,928,000
備 考	貸付額 71,902,500円 現金残額 28,025,500円		

(単位：円)

寄附金

(単位：円)

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
ふるさと西海応援寄附金基金(基金の額)	542,102,000	176,458,000	718,560,000
計	542,102,000	176,458,000	718,560,000

土地開発基金

(単位：円・㎡)

区 分		3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
不動産	宅 地	22,246.20㎡	0.00㎡	22,246.20㎡
	田 畑	15,526.00㎡	0.00㎡	15,526.00㎡
	山 林	494,542.00㎡	0.00㎡	494,542.00㎡
	その他	26,999.00㎡	0.00㎡	26,999.00㎡
土地開発基金(預金・債権)		285,194,824	299,864	285,494,688

国民健康保険特別会計（事業勘定）

1. 基金

基金現在高表

（単位：円）

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
国民健康保険財政調整基金	397,578,000	32,930,000	430,508,000
国民健康保険出産費資金貸付基金(基金の額)	4,000,000	0	4,000,000
国民健康保険高額療養費貸付基金(基金の額)	15,000,000	0	15,000,000
計	416,578,000	32,930,000	449,508,000

貸付基金

（単位：円）

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
国民健康保険出産費資金貸付基金(基金の額)	4,000,000	0	4,000,000
備 考	貸付額	0円	現金残額 4,000,000円

（単位：円）

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
国民健康保険高額療養費貸付基金(基金の額)	15,000,000	0	15,000,000
備 考	貸付額	0円	現金残額 15,000,000円

国民健康保険特別会計（直診勘定）

1. 公有財産

(1) 土地及び建物

土地は、本年度中の増減はなく、2,182.22 m²となっている。

建物についても、本年度中の増減はなく、1,007.15 m²となっている。

2. 物品

物品については、本年度中の増減はない。

交通船特別会計

1. 公有財産

(1) 動産

動産は、本年度中の増減はなく、船舶1隻（99総トン）である。

(2) 無体財産権

無体財産権は、本年度中の増減はなく、航路権1件である。

2. 基金

基金現在高表

(単位：円)

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
交通船整備基金	2,054	0	2,054
計	2,054	0	2,054

介護保険特別会計（保険事業勘定）

1. 基金

基金現在高表

(単位：円)

区 分	3年度末現在高	4年度中増減額 (債権を含む)	4年度末現在高
介護給付費準備基金	463,060,152	51,470,599	514,530,751
計	463,060,152	51,470,599	514,530,751

介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）

1. 物品

物品については、本年度中の増減はない。

工業団地整備事業特別会計

1. 公有財産

(1) 土地及び建物

土地及び建物は、本年度中の増減はない。

(2) 動産（行政財産）

動産は、本年度中の増減はなく、配水管（H I V P φ 150）が 179.6m、配水管（H I V P φ 100）が 251.6m、配水管（H I V P φ 75）が 240.3m、給水管（H P P φ 50）が 122.3m、給水管（H P P φ 25）が 17.5mとなっている。

む す び

む す び

令和4年度の地方財政の規模は90兆5,918億円（前年度比0.9%、7,858億円増）となっており、歳出のうち公債費を除いた地方の政策的経費である地方一般歳出は75兆8,761億円（前年度比0.6%、4,718億円増）となっている。

歳入では、地方税が41兆2,305億円（前年度比8.3%、3兆1,503億円増）、地方譲与税が2兆5,978億円（前年度比42.6%、7,759億円増）、地方特例交付金が2,267億円（前年度比36.6%、1,310億円減）となっている。

また、地方交付税が18兆538億円（前年度比3.5%、6,153億円増）、地方債が7兆6,077億円（前年度比32.3%、3兆6,330億円減）となっている。

この結果、地方一般財源総額は、62兆135億円（前年度比0.03%、203億円増）となっている。

歳出では、一般行政経費が41兆4,433億円（前年度比1.4%、5,609億円増）となっており、公債費が11兆4,259億円（前年度比3.0%、3,540億円減）となっている。

投資的経費は、直轄・補助事業が5兆6,648億円（前年度比0.9%、488億円減）、地方単独事業が6兆3,137億円（前年度比1.6%、1,000億円増）で、総額11兆9,785億円となっている。

このような財政状況にありながら、多くの自治体において引き続き人口減少や超高齢化社会への対応、新型コロナウイルス感染症防止対策、デジタル化などを推進していく必要がある。

また、普通交付税でも合併特例算定が終了し令和3年度より一本算定となったことから、更に厳しい財政運営が求められている。

本市においては、本年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を最優先に実施したほか、海外情勢の影響などによるエネルギー価格高騰対策や物価高騰緊急支援を広く実施している。

一般会計の決算においては、令和3年度に発生した集中豪雨などに伴う災害復旧事業や庁舎建設整備基金の設置などによる歳出の増加があったものの、令和3年度に比べ普通建設事業の大型事業が減少したことや、減債基金への積み立て、市債償還元金の繰上償還を実施しなかったことなどから大幅な減額となっている。

一方で、平成29年度を初年度とする「第2次西海市総合計画」に人口減少の克服、雇用創出、定住促進、産業振興、教育の充実等の各目標を掲げ、これらの実現に向け引き続き各種事業に取り組んでいる。

以上を踏まえ、令和4年度決算審査を実施した

令和4年度一般会計の決算額は、歳入24,433,543,490円、歳出23,071,838,119円で歳入歳出差引残額1,361,705,371円、翌年度へ繰越すべき財源308,506,000円を差し引いた実質収支額は1,053,199,371円の黒字となっている。前年度と比べ、歳入については、1,723,889,917円、6.6%減となり、歳出については、1,634,583,117円、6.6%減となっている。

歳入の款別で主なものについて、国庫支出金は前年度比672,475千円、15.3%減となっている。これは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特別給付金の財源とした国庫支出金の減額などによるものである。

歳入の12.7%を占める市税は、前年度比15,525千円、0.5%増となっている。これは、償却資産の設備投資に伴う固定資産税の増などによるものである。

歳入の35.9%を占める地方交付税は、前年度比135,295千円、1.5%減となっている。

財産収入では、令和3年度に公用車売却収入などがあったことで、前年度比181,544千円、62.0%減となっている。

寄付金はふるさと西海応援寄附金の増加により、前年度比120,334千円、13.9%増となっている。

市債は、令和3年度に実施した使用停止済み焼却炉施設解体事業や大島総合支所建替事業などの大型事業が完了したことにより、前年度比146,700千円、7.0%減となっている。

歳出の款別で主なものについて、総務費は、前年度比836,612千円、14.7%減となった。これは、新たに創設した庁舎建設整備基金への5億円の積立てや、多目的船建造事業などがあったものの、減債基金への積立てを実施しなかったことなどによるものである。

民生費は、前年度比485,558千円、6.7%減となった。これは、子育て世帯臨時特別給付事業や住民税非課税世帯等臨時特別給付事業の規模が縮小したことなどによるものである。

衛生費は、前年度比236,773千円、7.6%減となった。これは、令和3年度に使用停止済み焼却炉施設解体事業が完了したことなどによるものである。

農林水産業費は、前年度比152,322千円、24.2%増となった。これは、原油価格・物価高騰緊急支援事業やエネルギー価格高騰対策支援事業などを実施したことによるものである。

土木費は、前年度比86,013千円、7.7%減となった。これは、市営住宅建設事業や市営住宅改修事業の減少などによるものである。

消防費は、前年度比72,862千円、10.8%増となった。これは、消防団格納庫整備事業の増などによるものである。

教育費は、前年度比47,467千円、2.3%増となった。これは、学校施設の整備によるものである。

公債費は、前年度比888,394千円、30.0%減となった。これは、今後の元利償還金の増加に対応する財源を確保するため、繰上償還を見送ったことによるものである。

特別会計7事業の決算総額は歳入8,439,432,392円、歳出8,140,988,961円で歳入歳出差引額の総額は298,443,431円で、翌年度に繰越すべき財源0円を差し引いた実質収支額は298,443,431円となっている。

今回の決算審査では、各課で実施している事業全般に加え、成果説明書等に記載された事業の中から、特に重要と思われる事業を対象として、適正な事務が行われているかについて集中的に審査を行った。

以下の点を指摘事項とする。

(1) 財政運営について

令和4年度の一般会計において、減債基金の取り崩しはない。

期末市債残高は19,719,363千円となり、前年度末に比べ82,164千円、0.4%減少している。

「財政規模のうちどれぐらいの割合の一般財源が公債費に充てられたか」をあらわす実質公債費比率（小さいほど好ましい）は前年度の $\Delta 1.8\%$ から $\Delta 0.9\%$ となっている。

「財政運営の弾力性（余裕度）」をあらわす経常収支比率（小さいほど好ましい）は前年度83.9%に対して85.6%となっている。

年度末の基金残高は、前年度末に比べ897,445千円、5.5%増加し17,329,382千円となっており臨時的な財政需要に対する余裕度は、総合的にかなり高いと言える。

これらの良好な指標は、合併以来、財源確保と効率的な事業の執行による歳出削減に努め、さらに繰上償還により市債残高の圧縮を進めてきたこれまでの財政運営が成果を上げているものと判断される。

本市においては、普通交付税が一本算定化されたことに加え、道路橋梁や上下水道を始めとする各種インフラの整備・更新を控え、公共施設も多数有することから、今後も多額の支出が見込まれるところである。

また、財政運営が、国の財源に依存している状況であることに変わりはなく、今後も、これまで同様、効率的な財政運営に努められたい。

(2) 予算の執行

本年度も、新型コロナウイルス感染症対策やエネルギー価格高騰対策や物価高騰緊急支援を優先的に実施しながらも、市民のニーズに応え、基本目標を達成すべく、様々な事業が実施された。

「医療機関新規開設・承継補助事業」では、医療資源の確保ならびに医師の高齢化という観点から継続して事業を行っている。

「低所得子育て世帯生活支援特別給付事業」では、コロナ禍における子育て世帯への支援を国策として実施した。

「新型コロナウイルス予防接種事業」では、市内医療機関の協力を受け、集団接種だけでなく個別接種も実施した。また、離島接種や高齢者等施設接種も実施したことにより、ワクチン接種率が国・県よりも高くなっている。

「西海ふるさと便事業」では、制度の運用における課題が多かったことから、制度の悪用対策や課題解決を図るために一旦廃止している状況である。

しかし一方で、同事業は県内において本市のみが実施している事業であったことも含め利用者からの評判も良く、西海市産農林水産物・加工品の売上に貢献したことも確かで継続を望む声も多い。

このことから、同事業に替わる新たな制度を早急に創設し、本市の特産品の販売、PRを図ることができるよう期待する。

災害復旧費では令和3年集中豪雨による道路、農地、農業用施設、林道などの復旧工事を実施した。

(3) 企業誘致と地場産業の育成

「第2次西海市総合計画」において、まちづくりの基本目標として「さいかいで活躍できるしごとづくり」が掲げられ、新規事業の起業促進や市外優良企業の誘致に力を入れるとともに、ブランド化、高付加価値化などの手法を活用し、高い収益性と安定性を備えた地場産業を育成することとしている。

大島地区工業団地については、令和4年度に造成工事が完成し造船関連企業の誘致による新たな雇用について大きな期待が寄せられている。

また、工業団地「パールテクノ西海」への企業誘致についても、引き続き関係機関との連携を図り早期誘致に努められたい。

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、健全化判断比率及びその算定の基礎となる書類の審査を行ったところ、実質赤字比率及び連結実質赤字比率と将来負担比率はともに無く、実質公債費比率は△0.9%（前年度△1.8%）であり、経常収支比率も85.6%（前年度83.9%）と良好な数値であり、合併以来の財政健全化への取り組みが功を奏していると言えよう。

財政状況の推移（決算統計による）

（単位：千円）

区 分	4年度	3年度	2年度	元年度	30年度
実質公債費比率	△ 0.9 %	△ 1.8 %	△ 2.8 %	△ 2.1 %	△ 1.4 %
公債費比率	- %	- %	- %	- %	- %
債務負担行為を含む公債費比率	- %	- %	- %	- %	- %
起債制限比率	- %	- %	- %	- %	- %
基金現在高	17,329,382	16,431,927	15,748,550	15,701,566	16,071,709
地方債現在高	19,719,363	19,801,527	20,616,442	20,341,163	20,047,426
財政力指数	0.29	0.29	0.29	0.30	0.31
経常収支比率	85.6 %	83.9 %	83.6 %	87.7 %	84.8 %
実質収支比率	8.73 %	9.54 %	6.79 %	8.52 %	7.01 %

※基金現在高は土地開発基金及び長崎県証紙購買基金を除く

一方で、自治体の財政的な自立度を表す財政力指数を見ると、平成30年度以降低下している。

財政的な自立度を高めるためには市税の増収に繋がるような政策の展開や、ふるさと西海応援寄附金などの財源確保、歳入に見合った歳出構造への転換が必要となる。

「第2次西海市総合計画」において、市民意識調査の結果を踏まえ「雇用環境の充実」を最重要課題としており、安定した企業の存在や整備された工業団地、豊かな自然環境などの西海市の「大きな強み」を最大限に活用しながら、人口減少を克服することに重点を置いている。

本年度に大島工業団地の造成工事が完成した。

今後は造船関連企業の誘致が進められ、本市の重要課題である「雇用創出」に大きな期待が寄せられるところである。

「医療機関新規開設・承継補助事業」では、医療資源の確保という観点から継続して事業を実施し、市内にこれまで3件の開業が行われている。

また、地域の方々が更に安心して生活できるよう救急クリニック開設に向けた取り組みも期待されている。

医療体制の充実は人口減対策としても求められるところであり、引き続き事業の実施に努められたい。

教育環境については新たに大崎小学校が開校した。
開校に伴い大規模改修工事が行われたほか、他の教育施設の整備も行われた。
また、新型コロナウイルス感染症対策なども引続き実施され安心して学べる教育環境の構築が図られた。

令和4年度も新型コロナウイルス感染症対策を最優先で実施し、更に原油価格・物価高騰にかかる緊急支援対策については、広範囲に及ぶ対応をしなければならなかったが、通常業務の遂行や事業の進捗に大きな支障が生じなかったのは、職員が使命感に燃え業務に臨んだ結果といえる。

今後も職員一人ひとりが変わらぬ姿勢で業務に取り組んでもらいたい。

最後に、今回の決算審査で指摘した項目については、常に留意され今後の業務に生かされるよう要望し決算審査の結びとする。

